

認知症疾患医療センターに関する調査結果

平成27年1月

東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課

目次

1	調査結果の概要	1
I	調査結果の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査方法	1
(4)	調査期間	1
(5)	回収数及び回収率	1
II	基本情報	2
(1)	診療所	2
(2)	病院	3
III	認知症疾患医療センターについて	4
(1)	認知症疾患医療センター（地域型または診療所型）の指定に向けた考え方について	4
(2)	人員配置について	5
(3)	鑑別診断における適確な評価について	7
(4)	初期対応について	8
(5)	多職種連携による受入体制の整備	10
(6)	地域連携体制の構築	11
(7)	医療機関内の人材育成	12
(8)	地域の人材育成	13
(9)	家族介護者の会への支援・協力	14
(10)	受診が困難な人へのアウトリーチ支援	15
(11)	早期からの退院支援	16
(12)	身体合併症及び行動心理症状に係る地域全体での受入	17
IV	認知症医療に係る診療の状況について	18
(1)	認知症の専門外来の設置	18

(2) 認知症患者への診療として行っている分野.....	19
(3) 現在の都内において不足していると思われる認知症の診療分野.....	21
(4) 今後強化を図る考えのある認知症の診療分野.....	23
(5) 鑑別診断を行っている場合の予約時から初診までの待機日数.....	25
(6) 鑑別診断を行っている場合の1ヶ月の平均鑑別診断数 (外来初診患者における認知症関連疾患(MCIを含む)の診断件数で可).....	26
(7) 鑑別診断可能な認知症疾患.....	27
(8) 認知症診療に携わる医師の配置について.....	29
(9) 認知症診療に携わる専門職の配置について.....	34
(10) 認知症の検査体制の確保.....	40
(11) ケアマネジャーへの助言または連携の実施.....	41
(12) 地域包括支援センター職員への助言または連携の実施.....	42
2 調査票一式.....	43
(1) 調査依頼通知.....	43
(2) 調査票.....	44
(3) 参考資料.....	52
①認知症疾患医療センターの概要	
②東京都認知症疾患医療センター一覧	
③厚生労働省が定める認知症疾患医療センター各類型の設置基準	
④厚生労働省「認知症疾患医療センター運営事業実施要綱」	

1 調査結果の概要

I 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、平成24年度に開始された認知症疾患医療センターの取組が2年間を経過したこと、また、平成26年7月に厚生労働省において「認知症疾患医療センター運営事業実施要綱」の改正がなされ、従来の「基幹型」「地域型」に加えて、「診療所型」が新設されたことに伴い、今後、都において認知症疾患医療センターの整備を進める上での基礎資料とするため、実施したものです。

(2) 調査対象

都内医療機関のうち、医療機能に関する情報として、「認知症関連」項目にチェックを行い、認知症の治療を行っている東京都に報告している医療機関（東京都医療機関案内サービス「ひまわり」に公表されている情報）。

ただし、東京都認知症疾患医療センター指定12病院は除く。

(3) 調査方法

自記入式による郵送による。

(4) 調査期間

平成26年7月18日から同年8月8日まで

(5) 回収数及び回収率

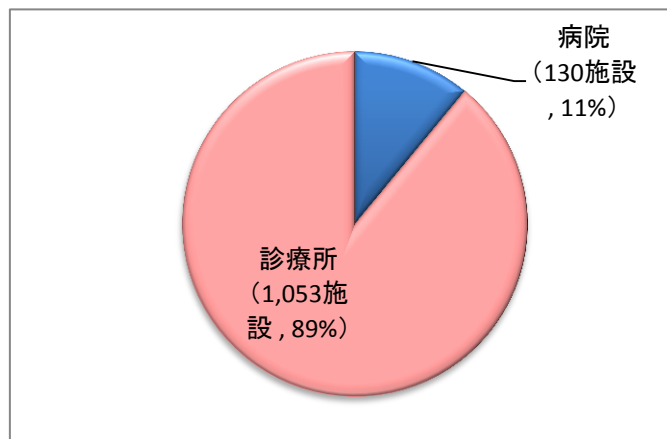
	調査票送付 医療機関数	うち回収数 (回収率)
合計	2,368	1,183 (50.0%)
病院	222	130 (58.6%)
診療所	2,146	1,053 (49.1%)

II 基本情報

集計対象者全体の構成は、病院・診療所別では、病院 130 施設、診療所 1,053 施設であった。(図 1-1)

区部・市町村部別では、区部 874 施設、市町村部 309 施設であった。(表 1-1)

【図 1-1】集計対象者の構成（病院・診療所別）（N=1,183 施設）



【表 1-1】集計対象者の構成（病院・診療所別、区部・市町村別）（N=1,183 施設）

	合計	区部	市町村部
総数	1,183 (100.0%)	874 (73.9%)	309 (26.1%)
病院	130 (100.0%)	82 (63.1%)	48 (36.9%)
診療所	1,053 (100.0%)	792 (75.2%)	261 (24.8%)

(1) 診療所

診療所の病床の有無については、病床無とする施設が 97.2%を占めた。(表 1-2)

【表 1-2】診療所・病床の有無（区部・市町村部別）（N=1,053 施設）

	合計	病床有	病床無	無回答
総数	1,053 (100.0%)	27 (2.6%)	1,024 (97.2%)	2 (0.2%)
区部	792 (100.0%)	21 (2.7%)	769 (97.1%)	2 (0.3%)
市町村部	261 (100.0%)	6 (2.3%)	255 (97.7%)	0 (0.0%)

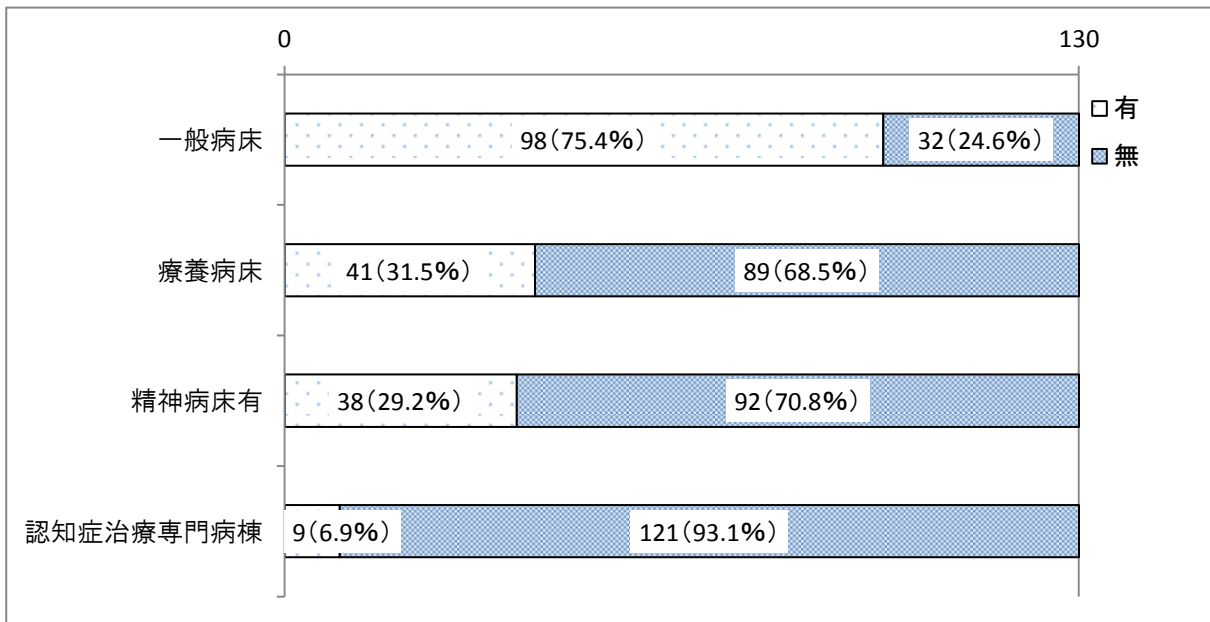
(2) 病院

病院の病床区分については、一般病床を有する病院が 98 施設 (75.4%)、療養病床を有する病院が 41 施設 (31.5%)、精神病床を有する病院が 38 施設 (29.2%) であった。また、認知症治療専門病棟を有する病院は 9 施設 (6.9%) であった。(表 1-3)

【表 1-3】病院・病床の有無 (区部・市町村部別) (N=130 施設)

	合計	一般病床		療養病床		精神病床		認知症治療 専門病棟	
		有	無	有	無	有	無	有	無
総数	130 (100.0%)	98 (75.4%)	32 (24.6%)	41 (31.5%)	89 (68.5%)	38 (29.2%)	92 (70.8%)	9 (6.9%)	121 (93.1%)
区部	82 (100.0%)	72 (87.8%)	10 (12.2%)	20 (24.4%)	62 (75.6%)	20 (24.4%)	62 (75.6%)	2 (2.4%)	80 (97.6%)
市町村部	48 (100.0%)	26 (54.2%)	22 (45.8%)	21 (43.8%)	27 (56.3%)	18 (37.5%)	30 (62.5%)	7 (14.6%)	41 (85.4%)

【図 1-2】病院・病床の有無 (全体) (N=130 施設)



Ⅲ 認知症疾患医療センターについて

(1) 認知症疾患医療センター(地域型または診療所型)の指定に向けた考え方について

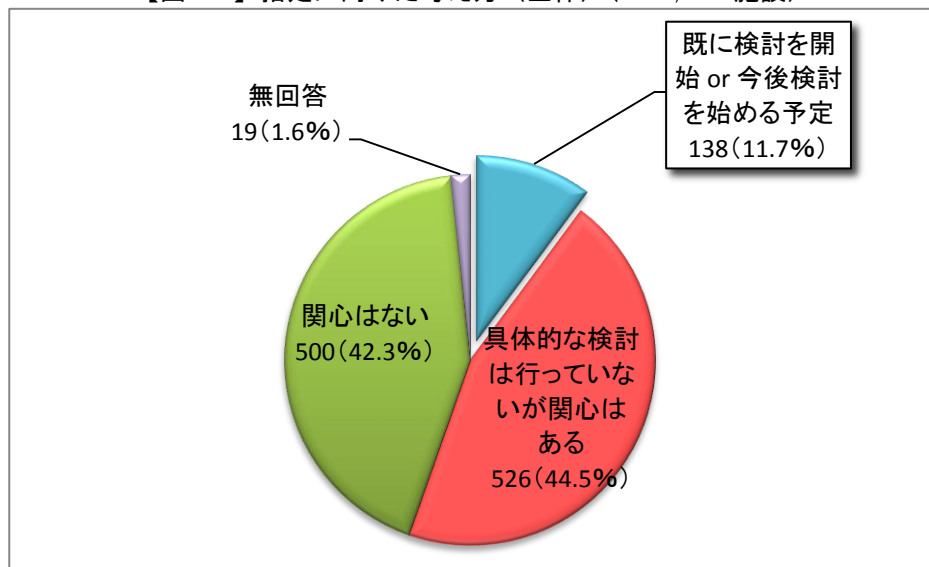
認知症疾患医療センター(地域型または診療所型)の指定に向けた考え方について尋ねたところ、「指定を受けたいと考えており、既に医療機関内で検討を開始している」医療機関が65施設(5.5%)、「検討を今後始める予定がある」医療機関が73施設(6.2%)であり、指定に向けた検討を行うと回答した医療機関は合わせて138施設(病院24施設、診療所114施設)であった。(表2-1)

次節以降では、全体の集計結果とともに、この138施設(指定希望施設)を対象とする集計結果を示す。

【表2-1】指定に向けた考え方(病院・診療所別、区部・市町村部別)(N=1,183施設)

		合計	指定を受けたいと考えており、既に医療機関内で検討を開始している	指定を受けたいと考えており、医療機関内の検討を今後始める予定がある	指定に向けて具体的な検討は行っていないが、関心はある	指定を受けることについての関心はない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	65 (5.5%)	73 (6.2%)	526 (44.5%)	500 (42.3%)	19 (1.6%)
病院	合計	130 (100.0%)	14 (10.8%)	10 (7.7%)	63 (48.5%)	43 (33.1%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	8 (9.8%)	7 (8.5%)	42 (51.2%)	25 (30.5%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	6 (12.5%)	3 (6.3%)	21 (43.8%)	18 (37.5%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	51 (4.8%)	63 (6.0%)	463 (44.0%)	457 (43.4%)	19 (1.8%)
	区部	792 (100.0%)	38 (4.8%)	53 (6.7%)	358 (45.2%)	330 (41.7%)	13 (1.6%)
	市町村部	261 (100.0%)	13 (5.0%)	10 (3.8%)	105 (40.2%)	127 (48.7%)	6 (2.3%)

【図2-1】指定に向けた考え方(全体)(N=1,183施設)



(2) 人員配置について

① 専ら認知症の専門医療相談を行う常勤の精神保健福祉士、保健師、看護師のいずれか1名以上の配置体制について、「既に対応している」(58施設、4.9%)、「対応は可能である」(158施設、13.4%)と回答した医療機関の合計は216施設(18.3%)であった。(表2-2)

指定希望施設のみを集計では、「既に対応している」(35施設、25.4%)、「対応は可能である」(56施設、40.6%)と回答した医療機関の合計は91施設(65.9%)であった。(表2-3)

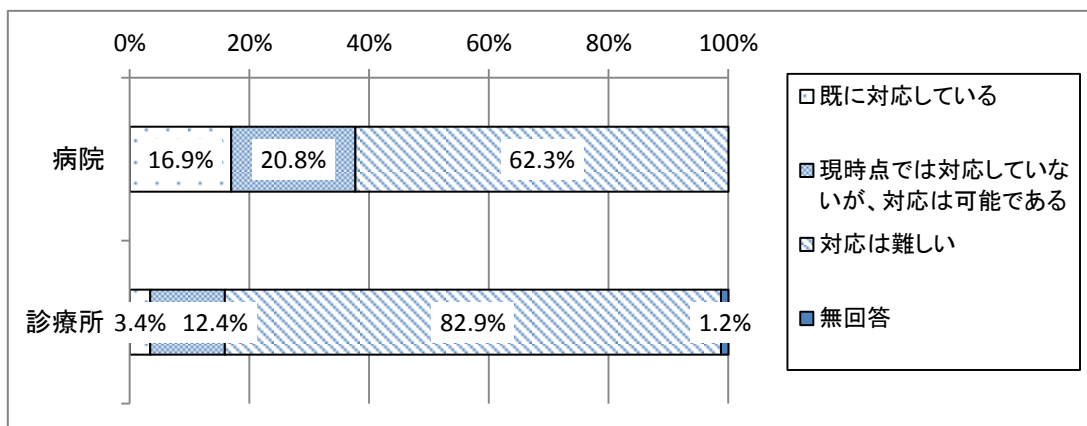
【表2-2】常勤のPSW、保健師、看護師のいずれか1名以上の配置(全体)(N=1,183施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	58 (4.9%)	158 (13.4%)	954 (80.6%)	13 (1.1%)
病院	合計	130 (100.0%)	22 (16.9%)	27 (20.8%)	81 (62.3%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	9 (11.0%)	21 (25.6%)	52 (63.4%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	13 (27.1%)	6 (12.5%)	29 (60.4%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	36 (3.4%)	131 (12.4%)	873 (82.9%)	13 (1.2%)
	区部	792 (100.0%)	30 (3.8%)	97 (12.2%)	656 (82.8%)	9 (1.1%)
	市町村部	261 (100.0%)	6 (2.3%)	34 (13.0%)	217 (83.1%)	4 (1.5%)

【表2-3】常勤のPSW、保健師、看護師のいずれか1名以上の配置(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	35 (25.4%)	56 (40.6%)	47 (34.1%)	0 (0.0%)
病院	24 (100.0%)	13 (54.2%)	9 (37.5%)	2 (8.3%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	22 (19.3%)	47 (41.2%)	45 (39.5%)	0 (0.0%)

【図2-2】常勤のPSW、保健師、看護師のいずれか1名以上の配置(病院・診療所別)(N=1,183施設)



②主に認知症の心理検査の業務に従事する専任の臨床心理技術者の配置

人員体制について、「既に対応している」(52施設、4.4%)、「対応は可能である」(118施設、10.0%)と回答した医療機関の合計は170施設(14.4%)であった。(表2-4)

指定希望施設のみを集計では、「既に対応している」(29施設、21.0%)、「対応は可能である」(45施設、32.6%)と回答した医療機関の合計は74施設(53.6%)であった。(表2-5)

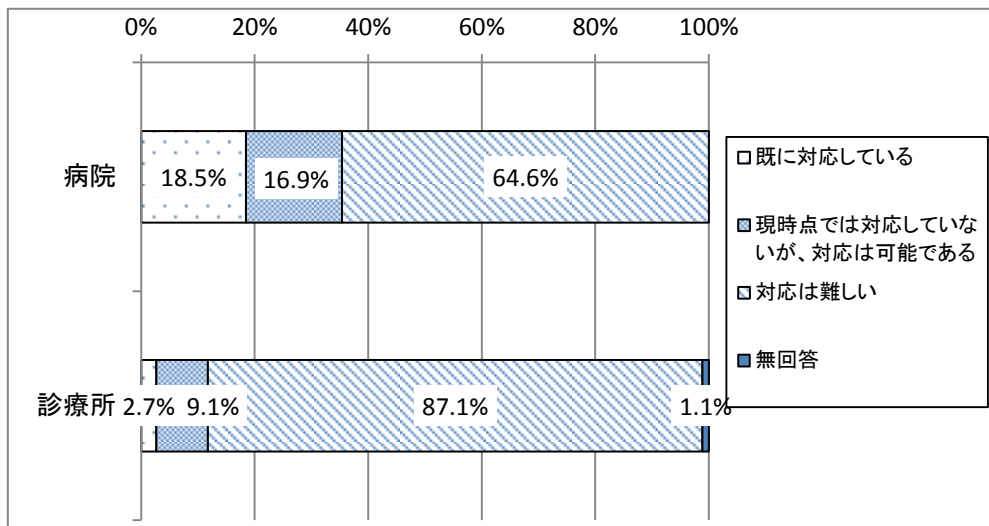
【表2-4】専任の臨床心理技術者の配置(全体)(N=1,183施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	52 (4.4%)	118 (10.0%)	1,001 (84.6%)	12 (1.0%)
病院	合計	130 (100.0%)	24 (18.5%)	22 (16.9%)	84 (64.6%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	17 (20.7%)	12 (14.6%)	53 (64.6%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	7 (14.6%)	10 (20.8%)	31 (64.6%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	28 (2.7%)	96 (9.1%)	917 (87.1%)	12 (1.1%)
	区部	792 (100.0%)	25 (3.2%)	71 (9.0%)	688 (86.9%)	8 (1.0%)
	市町村部	261 (100.0%)	3 (1.1%)	25 (9.6%)	229 (87.7%)	4 (1.5%)

【表2-5】専任の臨床心理技術者の配置(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	29 (21.0%)	45 (32.6%)	64 (46.4%)	0 (0.0%)
病院	24 (100.0%)	11 (45.8%)	10 (41.7%)	3 (12.5%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	18 (15.8%)	35 (30.7%)	61 (53.5%)	0 (0.0%)

【図2-3】専任の臨床心理技術者の配置(病院・診療所別)(N=1,183施設)



(3)鑑別診断における適確な評価について

問 鑑別診断にあたっては、医学的診断だけでなく、日常生活の状況や他の身体疾患等の状況も踏まえ、本人の身体的、心理的、社会的側面を評価する総合機能評価を行う。

「既に対応している」(394施設、33.3%)、「対応は可能である」(253施設、21.4%)と回答した医療機関の合計は647施設(54.7%)であった。(表2-6)

指定希望施設のみを集計では、「既に対応している」(106施設、76.8%)、「対応は可能である」(28施設、20.3%)と回答した医療機関の合計は134施設(97.1%)にのぼった。(表2-7)

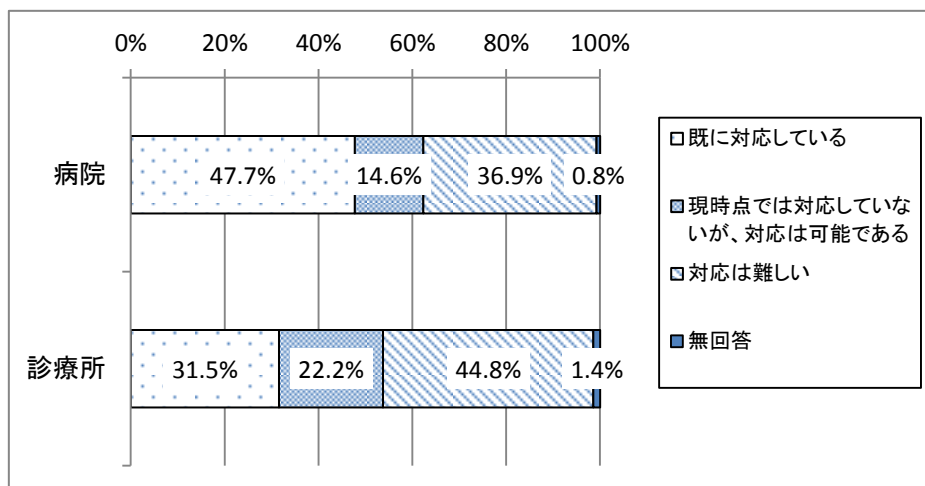
【表2-6】鑑別診断における適確な評価(全体)(N=1,183施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	394 (33.3%)	253 (21.4%)	520 (44.0%)	16 (1.4%)
病院	合計	130 (100.0%)	62 (47.7%)	19 (14.6%)	48 (36.9%)	1 (0.8%)
	区部	82 (100.0%)	41 (50.0%)	13 (15.9%)	27 (32.9%)	1 (1.2%)
	市町村部	48 (100.0%)	21 (43.8%)	6 (12.5%)	21 (43.8%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	332 (31.5%)	234 (22.2%)	472 (44.8%)	15 (1.4%)
	区部	792 (100.0%)	255 (32.2%)	176 (22.2%)	351 (44.3%)	10 (1.3%)
	市町村部	261 (100.0%)	77 (29.5%)	58 (22.2%)	121 (46.4%)	5 (1.9%)

【表2-7】鑑別診断における適確な評価(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	106 (76.8%)	28 (20.3%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)
病院	24 (100.0%)	21 (87.5%)	3 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	85 (74.6%)	25 (21.9%)	4 (3.5%)	0 (0.0%)

【図2-4】鑑別診断における適確な評価(病院・診療所別)(N=1,183施設)



(4)初期対応について

①鑑別診断に係るかかりつけ医との情報共有

問 かかりつけ医からの紹介により鑑別診断を行った場合、鑑別診断の結果について、かかりつけ医と情報の共有化を図る。

「基本的にすべての事例で対応」(170施設、14.4%)、「概ね対応」(227施設、19.2%)と回答した医療機関の合計は397施設(33.6%)であった。(表2-8)

指定希望施設のみを集計では、「基本的にすべての事例で対応」(71施設、51.4%)、「概ね対応」(38施設、27.5%)と回答した医療機関の合計は109施設(79.0%)であった。(表2-9)

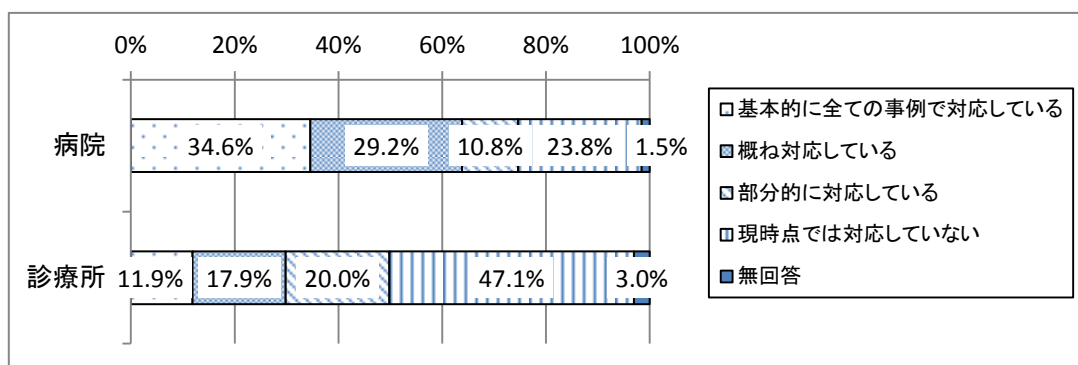
【表2-8】鑑別診断に係るかかりつけ医との情報共有(全体)(N=1,183施設)

		合計	基本的にすべての事例で対応している	概ね対応している	部分的に対応している	現時点では対応していない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	170 (14.4%)	227 (19.2%)	225 (19.0%)	527 (44.5%)	34 (2.9%)
病院	合計	130 (100.0%)	45 (34.6%)	38 (29.2%)	14 (10.8%)	31 (23.8%)	2 (1.5%)
	区部	82 (100.0%)	30 (36.6%)	24 (29.3%)	11 (13.4%)	16 (19.5%)	1 (1.2%)
	市町村部	48 (100.0%)	15 (31.3%)	14 (29.2%)	3 (6.3%)	15 (31.3%)	1 (2.1%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	125 (11.9%)	189 (17.9%)	211 (20.0%)	496 (47.1%)	32 (3.0%)
	区部	792 (100.0%)	101 (12.8%)	140 (17.7%)	162 (20.5%)	369 (46.6%)	20 (2.5%)
	市町村部	261 (100.0%)	24 (9.2%)	49 (18.8%)	49 (18.8%)	127 (48.7%)	12 (4.6%)

【表2-9】鑑別診断に係るかかりつけ医との情報共有(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	基本的にすべての事例で対応している	概ね対応している	部分的に対応している	現時点では対応していない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	71 (51.4%)	38 (27.5%)	11 (8.0%)	17 (12.3%)	1 (0.7%)
病院	24 (100.0%)	18 (75.0%)	5 (20.8%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	53 (46.5%)	33 (28.9%)	10 (8.8%)	17 (14.9%)	1 (0.9%)

【図2-5】鑑別診断に係るかかりつけ医との情報共有(病院・診療所別)(N=1,183施設)



②鑑別診断に係る介護機関との情報共有

問 鑑別診断の結果について、地域包括支援センターや、ケアマネジャー等の介護機関と情報の共有化を図る（介護・福祉による支援が必要と思われる場合）。

「基本的にすべての事例で対応」（173 施設、14.6%）、「概ね対応」（327 施設、27.6%）と回答した医療機関の合計は 500 施設（42.3%）であった。（表 2-10）

指定希望施設のみを集計では、「基本的にすべての事例で対応」（58 施設、42.0%）、「概ね対応」（58 施設、42.0%）と回答した医療機関の合計は 116 施設（84.1%）であった。（表 2-11）

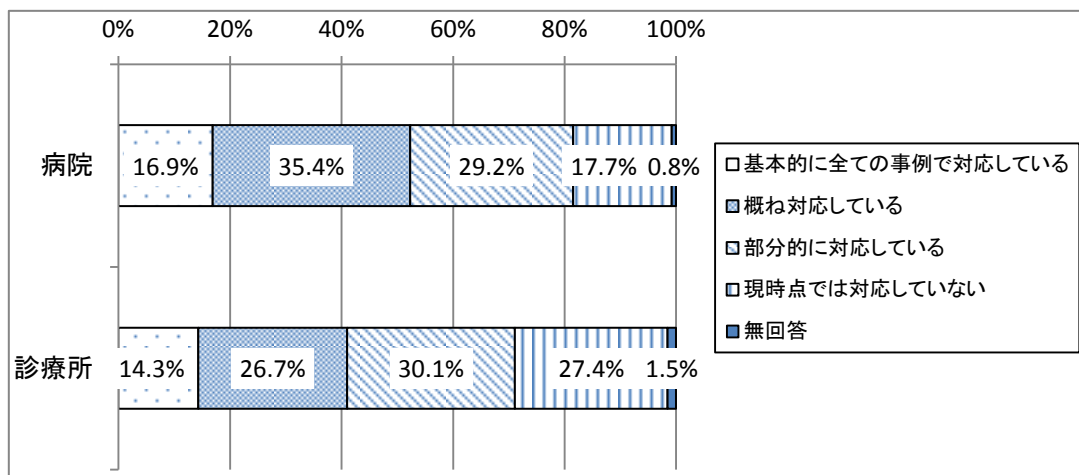
【表 2-10】鑑別診断に係る介護機関との情報共有（全体）（N=1,183 施設）

		合計	基本的にすべての事例で対応している	概ね対応している	部分的に対応している	現時点では対応していない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	173 (14.6%)	327 (27.6%)	355 (30.0%)	311 (26.3%)	17 (1.4%)
病院	合計	130 (100.0%)	22 (16.9%)	46 (35.4%)	38 (29.2%)	23 (17.7%)	1 (0.8%)
	区部	82 (100.0%)	13 (15.9%)	31 (37.8%)	28 (34.1%)	9 (11.0%)	1 (1.2%)
	市町村部	48 (100.0%)	9 (18.8%)	15 (31.3%)	10 (20.8%)	14 (29.2%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	151 (14.3%)	281 (26.7%)	317 (30.1%)	288 (27.4%)	16 (1.5%)
	区部	792 (100.0%)	120 (15.2%)	212 (26.8%)	230 (29.0%)	218 (27.5%)	12 (1.5%)
	市町村部	261 (100.0%)	31 (11.9%)	69 (26.4%)	87 (33.3%)	70 (26.8%)	4 (1.5%)

【表 2-11】鑑別診断に係る介護機関との情報共有（指定希望施設）（N=138 施設）

	合計	基本的にすべての事例で対応している	概ね対応している	部分的に対応している	現時点では対応していない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	58 (42.0%)	58 (42.0%)	15 (10.9%)	7 (5.1%)	0 (0.0%)
病院	24 (100.0%)	13 (54.2%)	9 (37.5%)	2 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	45 (39.5%)	49 (43.0%)	13 (11.4%)	7 (6.1%)	0 (0.0%)

【図 2-6】鑑別診断に係る介護機関との情報共有（病院・診療所別）（N=1,183 施設）



(5)多職種連携による受入体制の整備

問 認知症の人の身体合併症及び行動心理症状等、様々な症状に対応できるよう、医療機関内の医師、看護師、精神保健福祉士、介護職等、多職種が適切に連携できる体制を構築する

身体合併症やBPSD等の様々な症状に対応できるよう、医療職や介護職等の多職種連携について尋ねたところ、「既に対応している」(175施設、14.8%)、「対応可能である」(232施設、19.6%)と回答した医療機関は計407施設(34.4%)であった。(表2-12)

指定希望施設のみの集計では、「既に対応している」(70施設、50.7%)、「対応は可能である」(41施設、29.7%)と回答した医療機関の合計は111施設(80.4%)にのぼった。(表2-13)

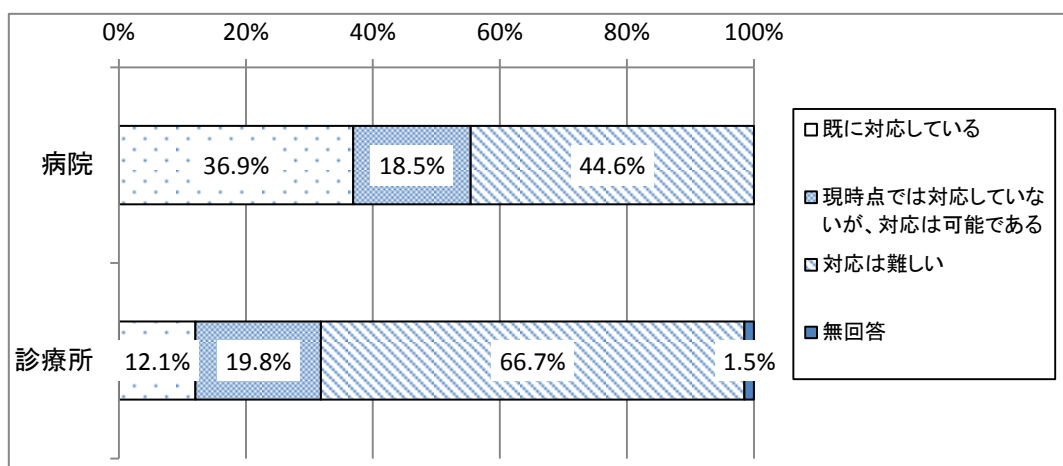
【表2-12】多職種連携による受入体制の整備(全体)(N=1,183施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	175 (14.8%)	232 (19.6%)	760 (64.2%)	16 (1.4%)
病院	合計	130 (100.0%)	48 (36.9%)	24 (18.5%)	58 (44.6%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	27 (32.9%)	17 (20.7%)	38 (46.3%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	21 (43.8%)	7 (14.6%)	20 (41.7%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	127 (12.1%)	208 (19.8%)	702 (66.7%)	16 (1.5%)
	区部	792 (100.0%)	101 (12.8%)	154 (19.4%)	526 (66.4%)	11 (1.4%)
	市町村部	261 (100.0%)	26 (10.0%)	54 (20.7%)	176 (67.4%)	5 (1.9%)

【表2-13】多職種連携による受入体制の整備(指定希望施設)(N=138施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数		138 (100.0%)	70 (50.7%)	41 (29.7%)	27 (19.6%)	0 (0.0%)
病院		24 (100.0%)	20 (83.3%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所		114 (100.0%)	50 (43.9%)	37 (32.5%)	27 (23.7%)	0 (0.0%)

【図2-7】多職種連携による受入体制の整備(病院・診療所別)(N=1,183施設)



(6)地域連携体制の構築

問 地域の医療機関、地域包括支援センター、行政機関等により構成されるケース会議や地域ケア会議、連携協議会に参加する

「既に対応している」(275 施設、23.2%)、「対応は可能である」(389 施設、32.9%) と回答した医療機関は計 664 施設 (56.1%) であった。(表 2-14)

指定希望施設の集計では、「既に対応している」(64 施設、46.4%)、「対応は可能である」(62 施設、44.9%) と回答した医療機関は計 126 施設 (91.3%) であった。(表 2-15)

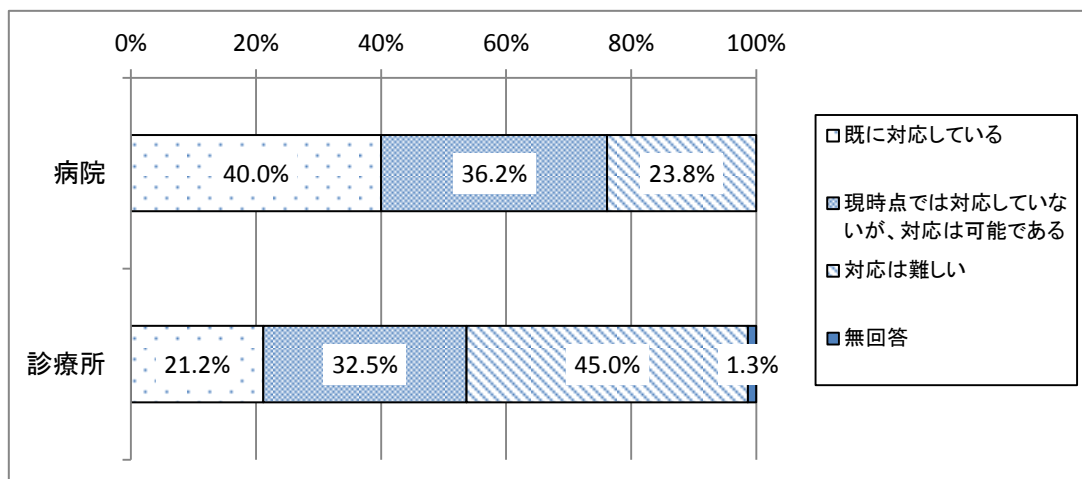
【表 2-14】地域連携体制の構築 (全体) (N=1,183 施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	275 (23.2%)	389 (32.9%)	505 (42.7%)	14 (1.2%)
病院	合計	130 (100.0%)	52 (40.0%)	47 (36.2%)	31 (23.8%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	26 (31.7%)	36 (43.9%)	20 (24.4%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	26 (54.2%)	11 (22.9%)	11 (22.9%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	223 (21.2%)	342 (32.5%)	474 (45.0%)	14 (1.3%)
	区部	792 (100.0%)	165 (20.8%)	254 (32.1%)	363 (45.8%)	10 (1.3%)
	市町村部	261 (100.0%)	58 (22.2%)	88 (33.7%)	111 (42.5%)	4 (1.5%)

【表 2-15】地域連携体制の構築 (指定希望施設) (N=138 施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	64 (46.4%)	62 (44.9%)	12 (8.7%)	0 (0.0%)
病院	24 (100.0%)	14 (58.3%)	10 (41.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	50 (43.9%)	52 (45.6%)	12 (10.5%)	0 (0.0%)

【図 2-8】地域連携体制の構築 (病院・診療所別) (N=1,183 施設)



(7)医療機関内の人材育成

問 認知症医療に係る専門的な知識・経験を有し、認知症の人を総合的にみることが出来る医師、看護師等を育成する

医師、看護師等の人材育成については、「既に対応している」(191施設、16.1%)、「対応は可能である」(282施設、23.8%)と回答した医療機関は計473施設(40.0%)であった。(表2-16) 指定希望施設のための集計では、「既に対応している」(70施設、50.7%)、「対応は可能である」(50施設、36.2%)と回答した医療機関は計120施設(87.0%)であった。(表2-17)

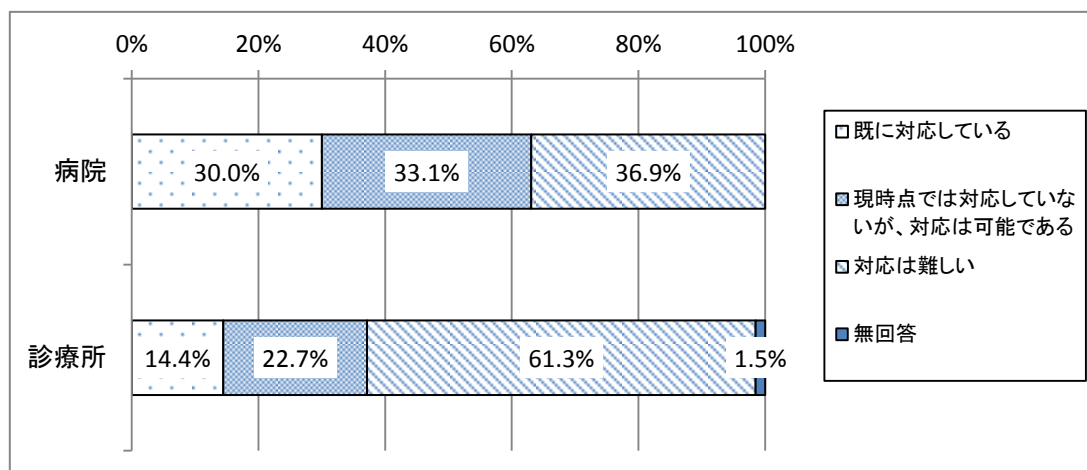
【表2-16】医療機関内の人材育成(全体)(N=1,183施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	191 (16.1%)	282 (23.8%)	694 (58.7%)	16 (1.4%)
病院	合計	130 (100.0%)	39 (30.0%)	43 (33.1%)	48 (36.9%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	21 (25.6%)	32 (39.0%)	29 (35.4%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	18 (37.5%)	11 (22.9%)	19 (39.6%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	152 (14.4%)	239 (22.7%)	646 (61.3%)	16 (1.5%)
	区部	792 (100.0%)	117 (14.8%)	181 (22.9%)	482 (60.9%)	12 (1.5%)
	市町村部	261 (100.0%)	35 (13.4%)	58 (22.2%)	164 (62.8%)	4 (1.5%)

【表2-17】医療機関内の人材育成(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	70 (50.7%)	50 (36.2%)	17 (12.3%)	1 (0.7%)
病院	24 (100.0%)	17 (70.8%)	6 (25.0%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	53 (46.5%)	44 (38.6%)	16 (14.0%)	1 (0.9%)

【図2-9】医療機関内の人材育成(病院・診療所別)(N=1,183施設)



(8)地域の人材育成

問 地域の医療・介護従事者を対象とした認知症に係る研修を開催する

地域の人材育成については、「既に対応している」(123 施設、10.4%)、「対応は可能である」(236 施設、19.9%) と回答した医療機関は計 359 施設 (30.3%) であった。(表 2-18)

指定希望施設のための集計では、「既に対応している」(48 施設、34.8%)、「対応は可能である」(59 施設、42.8%) と回答した医療機関は計 107 施設 (77.5%) であった。(表 2-19)

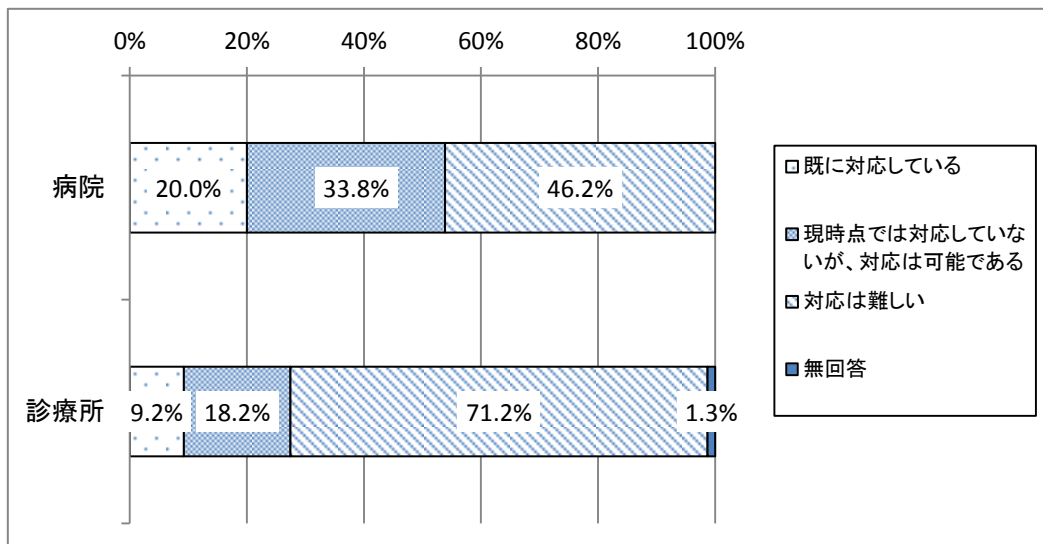
【表 2-18】 地域の人材育成 (全体) (N=1,183 施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	123 (10.4%)	236 (19.9%)	810 (68.5%)	14 (1.2%)
病院	合計	130 (100.0%)	26 (20.0%)	44 (33.8%)	60 (46.2%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	17 (20.7%)	30 (36.6%)	35 (42.7%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	9 (18.8%)	14 (29.2%)	25 (52.1%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	97 (9.2%)	192 (18.2%)	750 (71.2%)	14 (1.3%)
	区部	792 (100.0%)	80 (10.1%)	142 (17.9%)	561 (70.8%)	9 (1.1%)
	市町村部	261 (100.0%)	17 (6.5%)	50 (19.2%)	189 (72.4%)	5 (1.9%)

【表 2-19】 地域の人材育成 (指定希望施設) (N=138 施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	48 (34.8%)	59 (42.8%)	30 (21.7%)	1 (0.7%)
病院	24 (100.0%)	13 (54.2%)	11 (45.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	35 (30.7%)	48 (42.1%)	30 (26.3%)	1 (0.9%)

【図 2-10】 地域の人材育成 (病院・診療所別) (N=1,183 施設)



(9) 家族介護者の会への支援・協力

家族介護者の会への支援・協力については、「既に対応している」(104 施設、8.8%)、「対応は可能である」(409 施設、34.6%)と回答した医療機関は計 513 施設(43.4%)であった。(表 2-20)
 指定希望施設のみを集計では、「既に対応している」(38 施設、27.5%)、「対応は可能である」(80 施設、58.0%)と回答した医療機関は計 118 施設(85.5%)であった。(表 2-21)

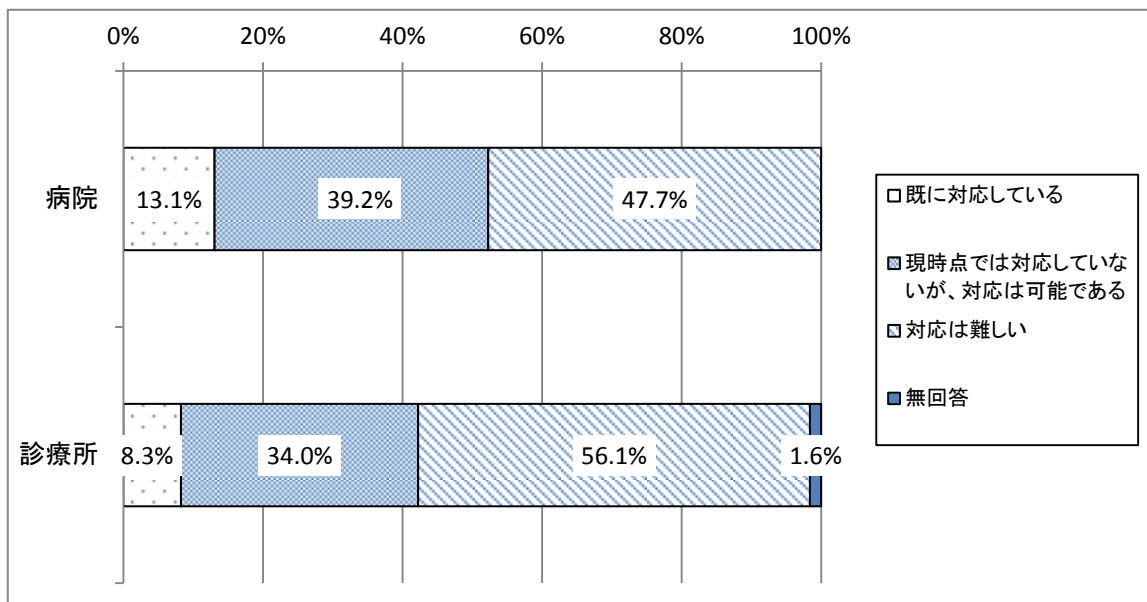
【表 2-20】 家族介護者の会への支援・協力 (全体) (N=1,183 施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	104 (8.8%)	409 (34.6%)	653 (55.2%)	17 (1.4%)
病院	合計	130 (100.0%)	17 (13.1%)	51 (39.2%)	62 (47.7%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	11 (13.4%)	34 (41.5%)	37 (45.1%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	6 (12.5%)	17 (35.4%)	25 (52.1%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	87 (8.3%)	358 (34.0%)	591 (56.1%)	17 (1.6%)
	区部	792 (100.0%)	68 (8.6%)	270 (34.1%)	441 (55.7%)	13 (1.6%)
	市町村部	261 (100.0%)	19 (7.3%)	88 (33.7%)	150 (57.5%)	4 (1.5%)

【表 2-21】 家族介護者の会への支援・協力 (指定希望施設) (N=138 施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	38 (27.5%)	80 (58.0%)	18 (13.0%)	2 (1.4%)
病院	24 (100.0%)	10 (41.7%)	14 (58.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	28 (24.6%)	66 (57.9%)	18 (15.8%)	2 (1.8%)

【図 2-11】 家族介護者の会への支援・協力 (病院・診療所別) (N=1,183 施設)



(10) 受診が困難な人へのアウトリーチ支援

問 認知症が疑われるが自ら医療機関を受診することが困難な人等について、区市町村や地域包括支援センターと連携して、医師や専門職が訪問支援（アウトリーチ）を行い、受診に結びつける。

アウトリーチ支援については、「既に対応している」（188 施設、15.9%）、「対応は可能である」（344 施設、29.1%）と回答した医療機関は計 532 施設（45.0%）であった。（表 2-22）

指定希望施設のための集計では、「既に対応している」（51 施設、37.0%）、「対応は可能である」（66 施設、47.8%）と回答した医療機関は計 117 施設（84.8%）であった。（表 2-23）

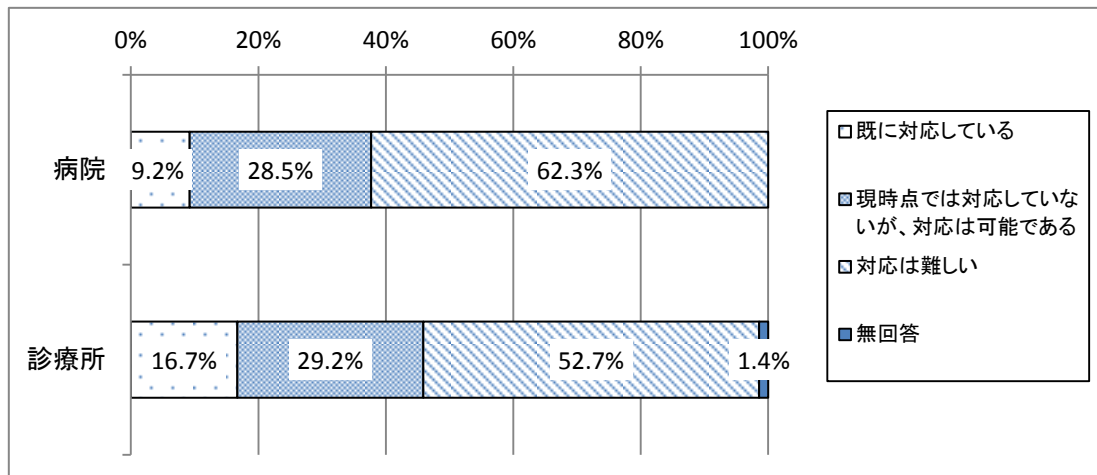
【表 2-22】 受診が困難な人へのアウトリーチ支援（全体）（N=1,183 施設）

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
総数		1,183 (100.0%)	188 (15.9%)	344 (29.1%)	636 (53.8%)	15 (1.3%)
病院	合計	130 (100.0%)	12 (9.2%)	37 (28.5%)	81 (62.3%)	0 (0.0%)
	区部	82 (100.0%)	6 (7.3%)	25 (30.5%)	51 (62.2%)	0 (0.0%)
	市町村部	48 (100.0%)	6 (12.5%)	12 (25.0%)	30 (62.5%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	176 (16.7%)	307 (29.2%)	555 (52.7%)	15 (1.4%)
	区部	792 (100.0%)	138 (17.4%)	231 (29.2%)	413 (52.1%)	10 (1.3%)
	市町村部	261 (100.0%)	38 (14.6%)	76 (29.1%)	142 (54.4%)	5 (1.9%)

【表 2-23】 受診が困難な人へのアウトリーチ支援（指定希望施設）（N=138 施設）

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	51 (37.0%)	66 (47.8%)	20 (14.5%)	1 (0.7%)
病院	24 (100.0%)	7 (29.2%)	13 (54.2%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	44 (38.6%)	53 (46.5%)	16 (14.0%)	1 (0.9%)

【図 2-12】 受診が困難な人へのアウトリーチ支援（病院・診療所別）（N=1,183 施設）



(11)早期からの退院支援

問 本人の生活環境や家族の介護力等を勘案の上、入院後できるだけ早期から退院に向けた協議を地域の医療機関、地域包括支援センター、ケアマネジャー等と行い、率先して退院後の生活支援体制の整備を行う

病床を有していないと回答した 705 施設を除いた医療機関 478 施設のうち、「既に対応している」(176 施設、36.8%) または「対応は可能である」(163 施設、34.1%) と回答した医療機関は計 339 施設(70.9%)であった。(表 2-24)

指定希望施設のための集計では、病床を有していない 36 診療所を除くと、「対応は難しい」と回答した医療機関は 1 診療所のみであり、ほぼ全ての医療機関が対応可能と回答した。(表 2-25)

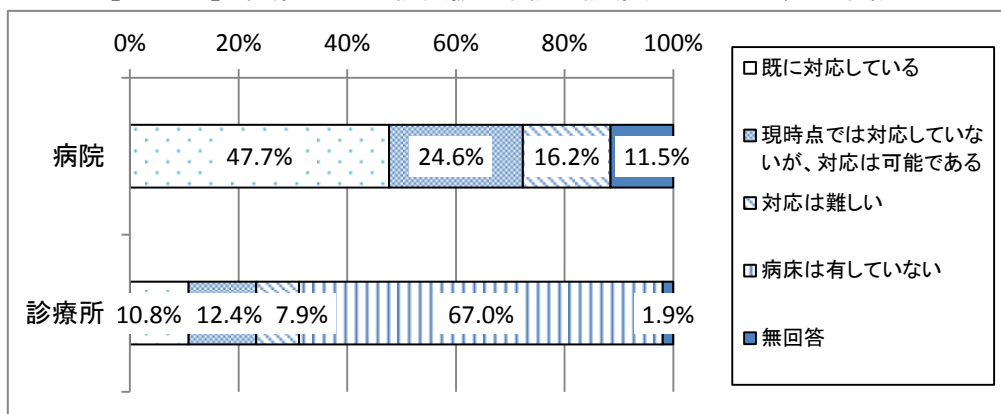
【表 2-24】 早期からの退院支援（全体）(N=1,183 施設)

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	病床を有していない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	176 (14.9%)	163 (13.8%)	104 (8.8%)	705 (59.6%)	35 (3.0%)
病院	合計	130 (100.0%)	62 (47.7%)	32 (24.6%)	21 (16.2%)	0 (0.0%)	15 (11.5%)
	区部	82 (100.0%)	38 (46.3%)	22 (26.8%)	12 (14.6%)	0 (0.0%)	10 (12.2%)
	市町村部	48 (100.0%)	24 (50.0%)	10 (20.8%)	9 (18.8%)	0 (0.0%)	5 (10.4%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	114 (10.8%)	131 (12.4%)	83 (7.9%)	705 (67.0%)	20 (1.9%)
	区部	792 (100.0%)	93 (11.7%)	99 (12.5%)	61 (7.7%)	524 (66.2%)	15 (1.9%)
	市町村部	261 (100.0%)	21 (8.0%)	32 (12.3%)	22 (8.4%)	181 (69.3%)	5 (1.9%)

【表 2-25】 早期からの退院支援（指定希望施設）(N=138 施設)

	合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	病床を有していない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	56 (40.6%)	43 (31.2%)	1 (0.7%)	36 (26.1%)	2 (1.4%)
病院	24 (100.0%)	18 (75.0%)	6 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	38 (33.3%)	37 (32.5%)	1 (0.9%)	36 (31.6%)	2 (1.8%)

【図 2-13】 早期からの退院支援（病院・診療所別）(N=1,183 施設)



(12)身体合併症及び行動心理症状に係る地域全体での受入

問 認知症の人の、身体合併症及び行動心理症状（BPSD）の治療（特に急性期における入院治療）においては、入院の受入れの依頼を受けたが自医療機関では対応できない場合、地域の一般病院や精神科病院等と緊密な連携を図り、地域の中で受入先を探すなどの取組を行う。

病床を有していないと回答した 690 施設を除いた医療機関 493 施設のうち、「既に対応している」（209 施設、42.4%）または「対応は可能である」（144 施設、29.2%）と回答した医療機関は計 353 施設（71.6%）であった。（表 2-26）

指定希望施設のみを集計では、病床を有していない 37 診療所を除くと、「対応は難しい」と回答した医療機関は 3 医療機関のみであり、ほぼ全ての医療機関が対応可能と回答した。（表 2-27）

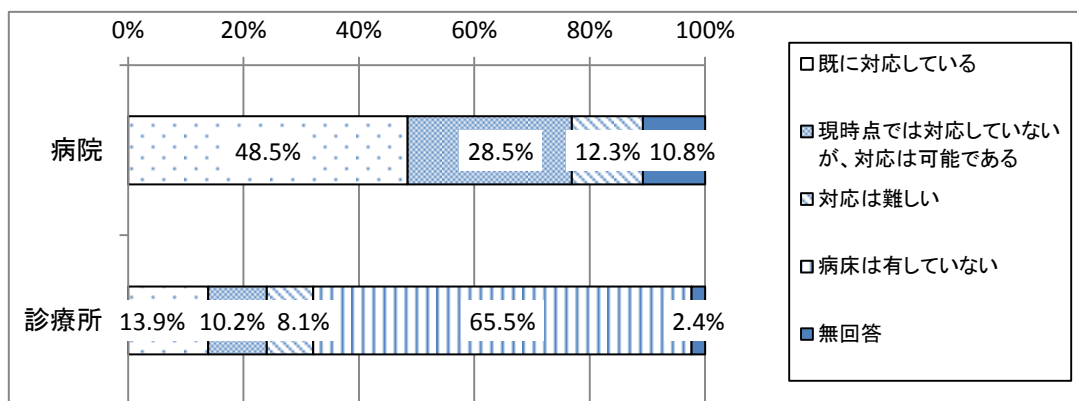
【表 2-26】身体合併症及び行動心理症状に係る地域全体での受入（全体）（N=1,183 施設）

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	病床を有していない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	209 (17.7%)	144 (12.2%)	101 (8.5%)	690 (58.3%)	39 (3.3%)
病院	合計	130 (100.0%)	63 (48.5%)	37 (28.5%)	16 (12.3%)	0 (0.0%)	14 (10.8%)
	区部	82 (100.0%)	36 (43.9%)	27 (32.9%)	8 (9.8%)	0 (0.0%)	11 (13.4%)
	市町村部	48 (100.0%)	27 (56.3%)	10 (20.8%)	8 (16.7%)	0 (0.0%)	3 (6.3%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	146 (13.9%)	107 (10.2%)	85 (8.1%)	690 (65.5%)	25 (2.4%)
	区部	792 (100.0%)	113 (14.3%)	82 (10.4%)	62 (7.8%)	517 (65.3%)	18 (2.3%)
	市町村部	261 (100.0%)	33 (12.6%)	25 (9.6%)	23 (8.8%)	173 (66.3%)	7 (2.7%)

【表 2-27】身体合併症及び行動心理症状に係る地域全体での受入（指定希望施設）（N=138 施設）

		合計	既に対応している	現時点では対応していないが、対応は可能である	対応は難しい	病床を有していない	無回答
指定を希望する施設総数		138 (100.0%)	66 (47.8%)	31 (22.5%)	3 (2.2%)	37 (26.8%)	1 (0.7%)
病院		24 (100.0%)	16 (66.7%)	7 (29.2%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所		114 (100.0%)	50 (43.9%)	24 (21.1%)	2 (1.8%)	37 (32.5%)	1 (0.9%)

【図 2-14】身体合併症及び行動心理症状に係る地域全体での受入（病院・診療所別）（N=1,183 施設）



IV 認知症医療に係る診療の状況について

(1) 認知症の専門外来の設置

認知症専門外来（もの忘れ外来等）の設置については、「設置している」と回答した医療機関が166施設（14.0%）、「設置する予定」と回答した医療機関が46施設（3.9%）であった。（表3-1）

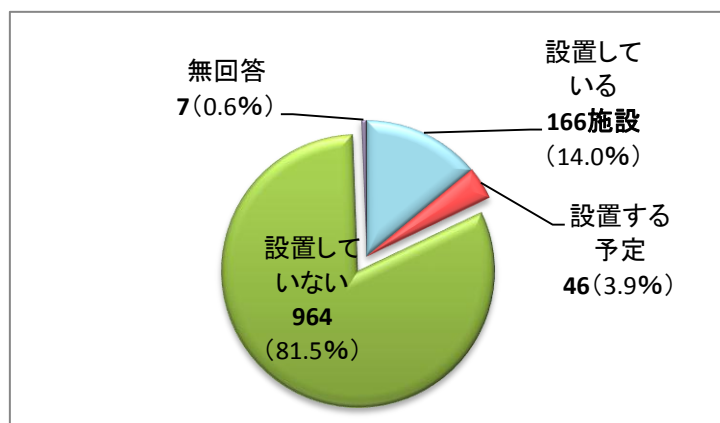
【表3-1】認知症の専門外来の設置（全体）（N=1,183施設）

		合計	設置している	設置する予定	設置していない	無回答	
総数		1,183 (100.0%)	166 (14.0%)	46 (3.9%)	964 (81.5%)	7 (0.6%)	
病院	合計	130 (100.0%)	53 (40.8%)	4 (3.1%)	72 (55.4%)	1 (0.8%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	36 (43.9%)	0 (0.0%)	45 (54.9%)	1 (1.2%)
		～199床	41 (100.0%)	12 (29.3%)	0 (0.0%)	28 (68.3%)	1 (2.4%)
		200～499床	24 (100.0%)	12 (50.0%)	0 (0.0%)	12 (50.0%)	0 (0.0%)
		500床～	17 (100.0%)	12 (70.6%)	0 (0.0%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	17 (35.4%)	4 (8.3%)	27 (56.3%)	0 (0.0%)
		～199床	28 (100.0%)	6 (21.4%)	1 (3.6%)	21 (75.0%)	0 (0.0%)
		200～499床	16 (100.0%)	10 (62.5%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)
		500床～	4 (100.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	113 (10.7%)	42 (4.0%)	892 (84.7%)	6 (0.6%)
		区部	792 (100.0%)	82 (10.4%)	34 (4.3%)	672 (84.8%)	4 (0.5%)
		市町村部	261 (100.0%)	31 (11.9%)	8 (3.1%)	220 (84.3%)	2 (0.8%)

【表3-2】認知症の専門外来の設置（指定希望施設）（N=138施設）

	合計	設置している	設置する予定	設置していない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	63 (45.7%)	25 (18.1%)	47 (34.1%)	3 (2.2%)
病院	24 (100.0%)	18 (75.0%)	3 (12.5%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)
診療所	114 (100.0%)	45 (39.5%)	22 (19.3%)	45 (39.5%)	2 (1.8%)

【図3-1】認知症の専門外来の設置（全体）（N=1,183）



(2) 認知症患者への診療として行っている分野

認知症患者へ診療として行っている分野を尋ねたところ、「認知症の中核症状の治療」と回答した医療機関が787施設（66.5%）と最も多く、次いで「身体合併症の治療（外来）」（745施設、63.0%）、「認知症疾患の鑑別診断」（634施設、53.6%）、「行動・心理症状の治療（外来）」（615施設、52.0%）となった。一方最も回答が少なかった分野は「行動・心理症状の治療（入院）」（47施設、4.0%）であった。（表3-3）

指定希望施設のみを集計では、「認知症の中核症状の治療」が125施設（90.6%）と最も多く、次いで「認知症疾患の鑑別診断」（124施設、89.9%）、「行動・心理症状の治療（外来）」（116施設、84.1%）、「身体合併症の治療（外来）」（112施設、81.2%）となった。一方最も回答が少なかった分野は「行動・心理症状の治療（入院）」（15施設、10.9%）であった。（表3-4）

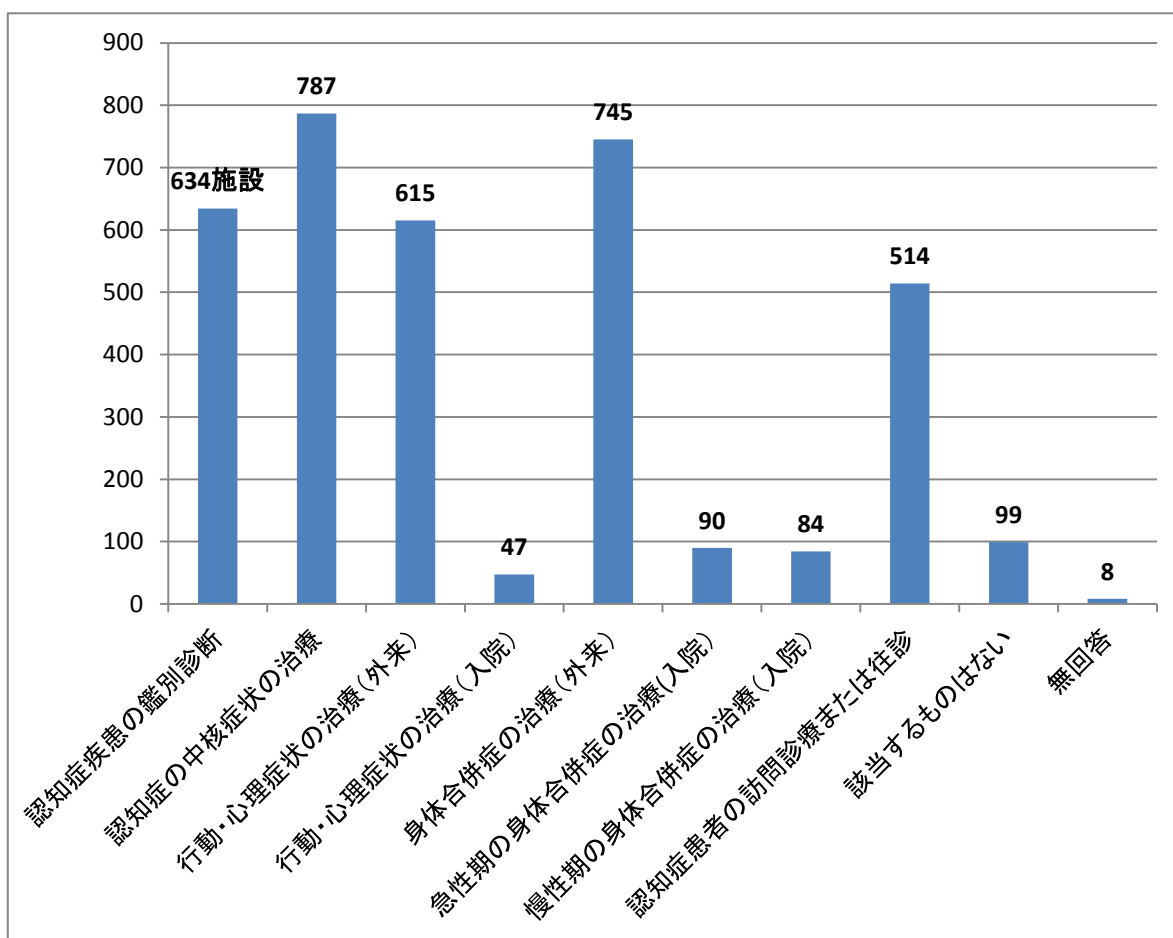
【表3-3】 認知症患者への診療として行っている分野（全体）（N=1,183施設、複数回答）

		合計	認知症疾患の鑑別診断	認知症の中核症状の治療	行動・心理症状の治療（外来）	行動・心理症状の治療（入院）	身体合併症の治療（外来）	急性期の身体合併症の治療（入院）	慢性期の身体合併症の治療（入院）	認知症患者の訪問診療または往診	該当するものはない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	634 (53.6%)	787 (66.5%)	615 (52.0%)	47 (4.0%)	745 (63.0%)	90 (7.6%)	84 (7.1%)	514 (43.4%)	99 (8.4%)	8 (0.7%)
病院	合計	130 (100.0%)	93 (71.5%)	86 (66.2%)	86 (66.2%)	43 (33.1%)	89 (68.5%)	68 (52.3%)	60 (46.2%)	22 (16.9%)	8 (6.2%)	1 (0.8%)
	合計	82 (100.0%)	62 (75.6%)	54 (65.9%)	57 (69.5%)	24 (29.3%)	58 (70.7%)	46 (56.1%)	32 (39.0%)	13 (15.9%)	6 (7.3%)	1 (1.2%)
	～199床	41 (100.0%)	26 (63.4%)	17 (41.5%)	22 (53.7%)	10 (24.4%)	23 (56.1%)	13 (31.7%)	16 (39.0%)	11 (26.8%)	4 (9.8%)	1 (2.4%)
	200～499床	24 (100.0%)	20 (83.3%)	21 (87.5%)	19 (79.2%)	7 (29.2%)	21 (87.5%)	19 (79.2%)	8 (33.3%)	1 (4.2%)	2 (8.3%)	0 (0.0%)
	500床～	17 (100.0%)	16 (94.1%)	16 (94.1%)	16 (94.1%)	7 (41.2%)	14 (82.4%)	14 (82.4%)	8 (47.1%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	合計	48 (100.0%)	31 (64.6%)	32 (66.7%)	29 (60.4%)	19 (39.6%)	31 (64.6%)	22 (45.8%)	28 (58.3%)	9 (18.8%)	2 (4.2%)	0 (0.0%)
	～199床	28 (100.0%)	15 (53.6%)	15 (53.6%)	13 (46.4%)	7 (25.0%)	20 (71.4%)	12 (42.9%)	17 (60.7%)	8 (28.6%)	2 (7.1%)	0 (0.0%)
	200～499床	16 (100.0%)	12 (75.0%)	13 (81.3%)	13 (81.3%)	11 (68.8%)	7 (43.8%)	6 (37.5%)	10 (62.5%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	500床～	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	541 (51.4%)	701 (66.6%)	529 (50.2%)	4 (0.4%)	656 (62.3%)	22 (2.1%)	24 (2.3%)	492 (46.7%)	91 (8.6%)
区部		792 (100.0%)	412 (52.0%)	526 (66.4%)	402 (50.8%)	2 (0.3%)	483 (61.0%)	15 (1.9%)	18 (2.3%)	375 (47.3%)	68 (8.6%)	4 (0.5%)
市町村部		261 (100.0%)	129 (49.4%)	175 (67.0%)	127 (48.7%)	2 (0.8%)	173 (66.3%)	7 (2.7%)	6 (2.3%)	117 (44.8%)	23 (8.8%)	3 (1.1%)

【表3-4】 認知症患者への診療として行っている分野（指定希望施設）（N=138施設、複数回答）

	合計	認知症疾患の鑑別診断	認知症の中核症状の治療	行動・心理症状の治療（外来）	行動・心理症状の治療（入院）	身体合併症の治療（外来）	急性期の身体合併症の治療（入院）	慢性期の身体合併症の治療（入院）	認知症患者の訪問診療または往診	該当するものはない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	124 (89.9%)	125 (90.6%)	116 (84.1%)	15 (10.9%)	112 (81.2%)	22 (15.9%)	23 (16.7%)	88 (63.8%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
病院	24 (100.0%)	23 (95.8%)	23 (95.8%)	23 (95.8%)	13 (54.2%)	20 (83.3%)	18 (75.0%)	19 (79.2%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	101 (88.6%)	102 (89.5%)	93 (81.6%)	2 (1.8%)	92 (80.7%)	4 (3.5%)	4 (3.5%)	84 (73.7%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)

【図 3-2】 認知症患者への診療として行っている分野（全体）（N=1,183 施設、複数回答）



(3) 現在の都内において不足していると思われる認知症の診療分野

現在の都内において不足していると思われる認知症の診療分野については、「急性期の身体合併症の治療（入院）」と回答した施設が678施設(57.3%)と最も多く、次いで「行動・心理症状の治療（入院）」(640施設、54.1%)、「慢性期の身体合併症の治療（入院）」(626施設、52.9%)、「認知症患者の訪問診療または往診」(490施設、41.4%)となり、前項で回答数の少なかった入院治療に関する項目の回答が多かった。(表3-5)

指定希望施設のみを集計では、「急性期の身体合併症の治療（入院）」と回答した施設が81施設(58.7%)と最も多く、次いで「認知症患者の訪問診療または往診」(77施設、55.8%)、「行動・心理症状の治療(入院)」(73施設、52.9%)、「慢性期の身体合併症の治療(入院)」(69施設、50.0%)となった。(表3-6)

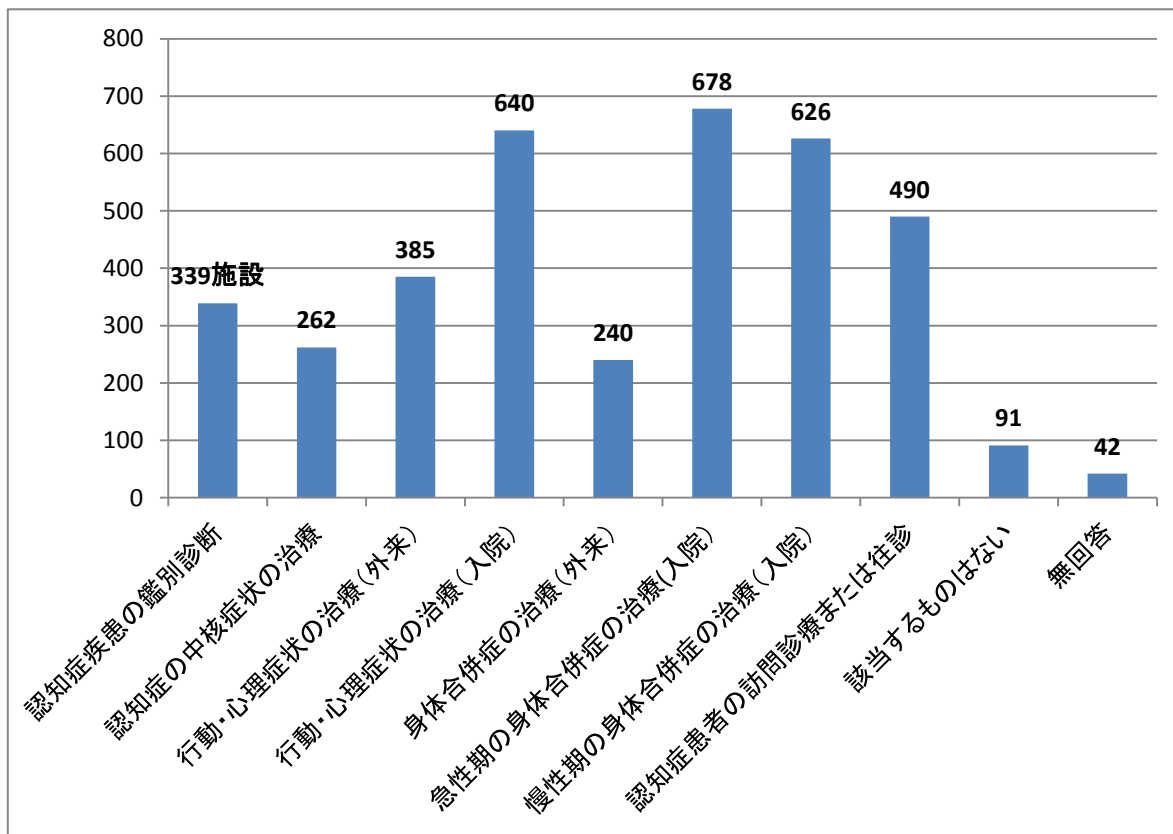
【表3-5】 都内で不足していると思われる認知症の診療分野（全体）(N=1,183施設、複数回答)

		合計	認知症疾患の鑑別診断	認知症の中核症状の治療	行動・心理症状の治療(外来)	行動・心理症状の治療(入院)	身体合併症の治療(外来)	急性期の身体合併症の治療(入院)	慢性期の身体合併症の治療(入院)	認知症患者の訪問診療または往診	該当するものはない	無回答	
総数		1,183 (100.0%)	339 (28.7%)	262 (22.1%)	385 (32.5%)	640 (54.1%)	240 (20.3%)	678 (57.3%)	626 (52.9%)	490 (41.4%)	91 (7.7%)	42 (3.6%)	
病院	合計	130 (100.0%)	41 (31.5%)	38 (29.2%)	48 (36.9%)	79 (60.8%)	36 (27.7%)	74 (56.9%)	66 (50.8%)	79 (60.8%)	1 (0.8%)	3 (2.3%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	22 (26.8%)	21 (25.6%)	24 (29.3%)	54 (65.9%)	17 (20.7%)	42 (51.2%)	43 (52.4%)	47 (57.3%)	1 (1.2%)	3 (3.7%)
	~199床	41 (100.0%)	12 (29.3%)	13 (31.7%)	10 (24.4%)	26 (63.4%)	9 (22.0%)	25 (61.0%)	20 (48.8%)	21 (51.2%)	1 (2.4%)	2 (4.9%)	
	200~499床	24 (100.0%)	7 (29.2%)	5 (20.8%)	9 (37.5%)	15 (62.5%)	3 (12.5%)	7 (29.2%)	14 (58.3%)	15 (62.5%)	0 (0.0%)	1 (4.2%)	
	500床~	17 (100.0%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	5 (29.4%)	13 (76.5%)	5 (29.4%)	10 (58.8%)	9 (52.9%)	11 (64.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	市町村部	合計	48 (100.0%)	19 (39.6%)	17 (35.4%)	24 (50.0%)	25 (52.1%)	19 (39.6%)	32 (66.7%)	23 (47.9%)	32 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	~199床	28 (100.0%)	11 (39.3%)	12 (42.9%)	17 (60.7%)	15 (53.6%)	11 (39.3%)	18 (64.3%)	13 (46.4%)	17 (60.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	200~499床	16 (100.0%)	5 (31.3%)	3 (18.8%)	5 (31.3%)	7 (43.8%)	7 (43.8%)	12 (75.0%)	7 (43.8%)	11 (68.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	500床~	4 (100.0%)	3 (75.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	298 (28.3%)	224 (21.3%)	337 (32.0%)	561 (53.3%)	204 (19.4%)	604 (57.4%)	560 (53.2%)	411 (39.0%)	90 (8.5%)	39 (3.7%)
区部		792 (100.0%)	235 (29.7%)	168 (21.2%)	257 (32.4%)	426 (53.8%)	152 (19.2%)	465 (58.7%)	429 (54.2%)	303 (38.3%)	65 (8.2%)	27 (3.4%)	
市町村部		261 (100.0%)	63 (24.1%)	56 (21.5%)	80 (30.7%)	135 (51.7%)	52 (19.9%)	139 (53.3%)	131 (50.2%)	108 (41.4%)	25 (9.6%)	12 (4.6%)	

【表3-6】 都内で不足していると思われる認知症の診療分野（指定希望施設）(N=138施設、複数回答)

	合計	認知症疾患の鑑別診断	認知症の中核症状の治療	行動・心理症状の治療(外来)	行動・心理症状の治療(入院)	身体合併症の治療(外来)	急性期の身体合併症の治療(入院)	慢性期の身体合併症の治療(入院)	認知症患者の訪問診療または往診	該当するものはない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	42 (30.4%)	31 (22.5%)	57 (41.3%)	73 (52.9%)	37 (26.8%)	81 (58.7%)	69 (50.0%)	77 (55.8%)	4 (2.9%)	4 (2.9%)
病院	24 (100.0%)	7 (29.2%)	4 (16.7%)	8 (33.3%)	13 (54.2%)	8 (33.3%)	13 (54.2%)	9 (37.5%)	19 (79.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	35 (30.7%)	27 (23.7%)	49 (43.0%)	60 (52.6%)	29 (25.4%)	68 (59.6%)	60 (52.6%)	58 (50.9%)	4 (3.5%)	4 (3.5%)

【図 3-3】 都内で不足していると思われる認知症の診療分野（全体）（N=1,183 施設、複数回答）



(4) 今後強化を図る考えのある認知症の診療分野

今後強化を図る考えのある認知症の診療分野を尋ねたところ、「認知症の中核症状の治療」と回答した施設が429施設(36.3%)と最も多く、次いで「認知症患者の訪問診療または往診」(404施設、34.2%)、「行動・心理症状の治療(外来)」(380施設、32.1%)、「身体合併症の治療(外来)」(378施設、32.0%)、「認知症疾患の鑑別診断」(376施設、31.8%)となった。(表3-7)

指定希望施設のみを集計では、「認知症の中核症状の治療」と回答した施設が91施設(65.9%)と最も多く、次いで「認知症患者の訪問診療または往診」(89施設、64.5%)、「認知症疾患の鑑別診断」(82施設、59.4%)、「行動・心理症状の治療(外来)」(81施設、58.7%)となった。(表3-8)

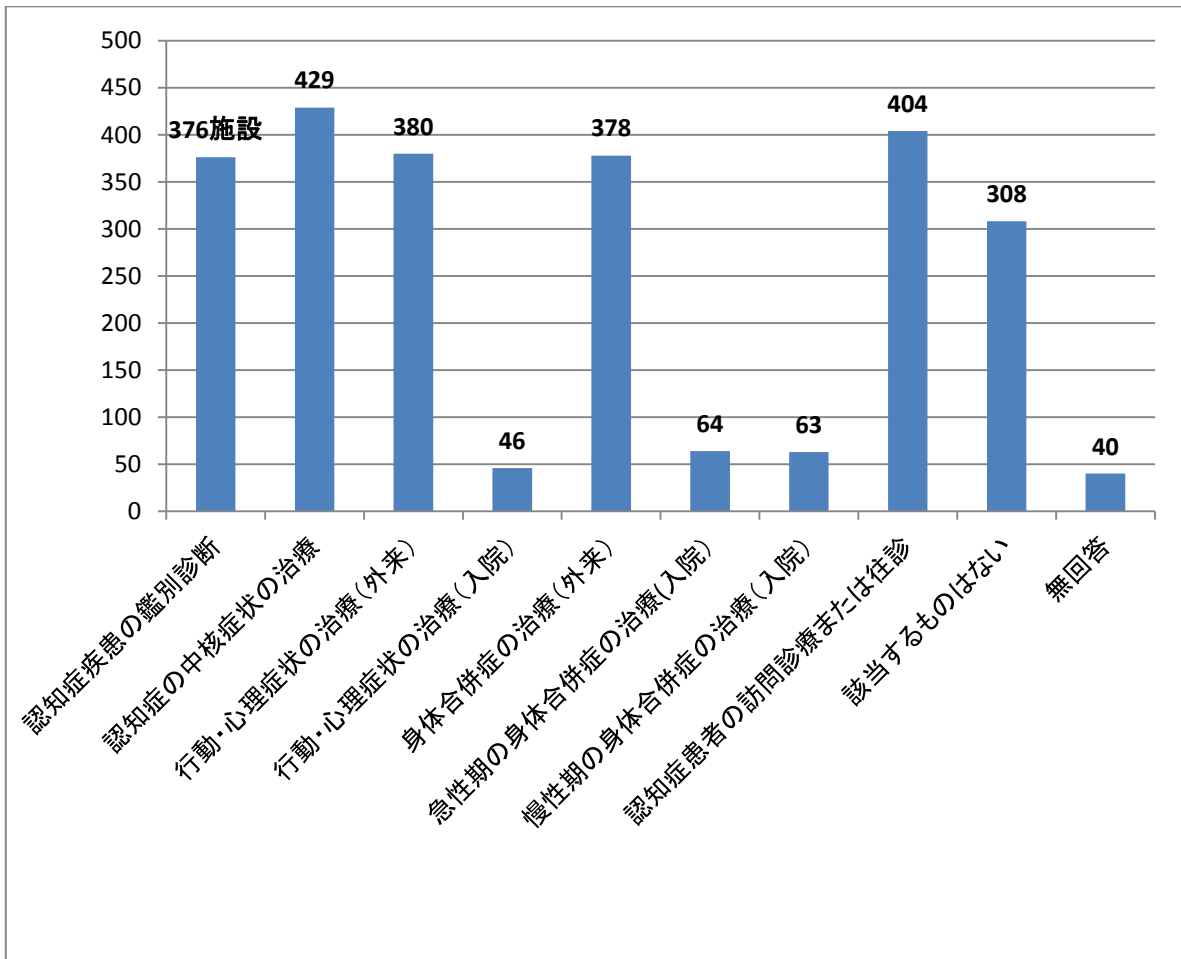
【表3-7】 今後強化を図る考えのある認知症の診療分野(全体)(N=1,183施設、複数回答)

		合計	認知症疾患の鑑別診断	認知症の中核症状の治療	行動・心理症状の治療(外来)	行動・心理症状の治療(入院)	身体合併症の治療(外来)	急性期の身体合併症の治療(入院)	慢性期の身体合併症の治療(入院)	認知症患者の訪問診療または往診	該当するものはない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	376 (31.8%)	429 (36.3%)	380 (32.1%)	46 (3.9%)	378 (32.0%)	64 (5.4%)	63 (5.3%)	404 (34.2%)	308 (26.0%)	40 (3.4%)
病院	合計	130 (100.0%)	57 (43.8%)	48 (36.9%)	44 (33.8%)	22 (16.9%)	33 (25.4%)	33 (25.4%)	36 (27.7%)	28 (21.5%)	25 (19.2%)	7 (5.4%)
	合計	82 (100.0%)	39 (47.6%)	31 (37.8%)	27 (32.9%)	13 (15.9%)	22 (26.8%)	23 (28.0%)	18 (22.0%)	14 (17.1%)	16 (19.5%)	5 (6.1%)
	～199床	41 (100.0%)	17 (41.5%)	12 (29.3%)	14 (34.1%)	6 (14.6%)	13 (31.7%)	13 (31.7%)	12 (29.3%)	8 (19.5%)	6 (14.6%)	2 (4.9%)
	200～499床	24 (100.0%)	11 (45.8%)	8 (33.3%)	7 (29.2%)	2 (8.3%)	3 (12.5%)	3 (12.5%)	3 (12.5%)	3 (12.5%)	9 (37.5%)	2 (8.3%)
	500床～	17 (100.0%)	11 (64.7%)	11 (64.7%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)	6 (35.3%)	7 (41.2%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)
	合計	48 (100.0%)	18 (37.5%)	17 (35.4%)	17 (35.4%)	9 (18.8%)	11 (22.9%)	10 (20.8%)	18 (37.5%)	14 (29.2%)	9 (18.8%)	2 (4.2%)
	～199床	28 (100.0%)	5 (17.9%)	6 (21.4%)	5 (17.9%)	3 (10.7%)	7 (25.0%)	5 (17.9%)	9 (32.1%)	8 (28.6%)	8 (28.6%)	2 (7.1%)
	200～499床	16 (100.0%)	11 (68.8%)	10 (62.5%)	11 (68.8%)	6 (37.5%)	3 (18.8%)	4 (25.0%)	8 (50.0%)	6 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	500床～	4 (100.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	319 (30.3%)	381 (36.2%)	336 (31.9%)	24 (2.3%)	345 (32.8%)	31 (2.9%)	27 (2.6%)	376 (35.7%)	283 (26.9%)
区部		792 (100.0%)	249 (31.4%)	296 (37.4%)	262 (33.1%)	15 (1.9%)	265 (33.5%)	22 (2.8%)	21 (2.7%)	281 (35.5%)	212 (26.8%)	27 (3.4%)
市町村部		261 (100.0%)	70 (26.8%)	85 (32.6%)	74 (28.4%)	9 (3.4%)	80 (30.7%)	9 (3.4%)	6 (2.3%)	95 (36.4%)	71 (27.2%)	6 (2.3%)

【表3-8】 今後強化を図る考えのある認知症の診療分野(指定希望施設)(N=138施設、複数回答)

	合計	認知症疾患の鑑別診断	認知症の中核症状の治療	行動・心理症状の治療(外来)	行動・心理症状の治療(入院)	身体合併症の治療(外来)	急性期の身体合併症の治療(入院)	慢性期の身体合併症の治療(入院)	認知症患者の訪問診療または往診	該当するものはない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	82 (59.4%)	91 (65.9%)	81 (58.7%)	11 (8.0%)	71 (51.4%)	15 (10.9%)	11 (8.0%)	89 (64.5%)	7 (5.1%)	0 (0.0%)
病院	24 (100.0%)	16 (66.7%)	16 (66.7%)	14 (58.3%)	9 (37.5%)	10 (41.7%)	11 (45.8%)	8 (33.3%)	14 (58.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	66 (57.9%)	75 (65.8%)	67 (58.8%)	2 (1.8%)	61 (53.5%)	4 (3.5%)	3 (2.6%)	75 (65.8%)	7 (6.1%)	0 (0.0%)

【図 3-4】 今後強化を図る考えのある認知症の診療分野（全体）（N=1,183 施設、複数回答）



(5)鑑別診断を行っている場合の予約時から初診までの待機日数

認知症疾患の鑑別診断を行っていると回答した 634 施設のうち、鑑別診断を行う場合の予約時から初診までの待機日数について、「予約不要のため待機日数はなし」と回答した施設が 358 施設 (56.5%)、「2 週間以内に診察可能」と回答した施設が 178 施設 (28.1%) と合わせて 8 割を超える結果となった。(表 3-3、3-9)

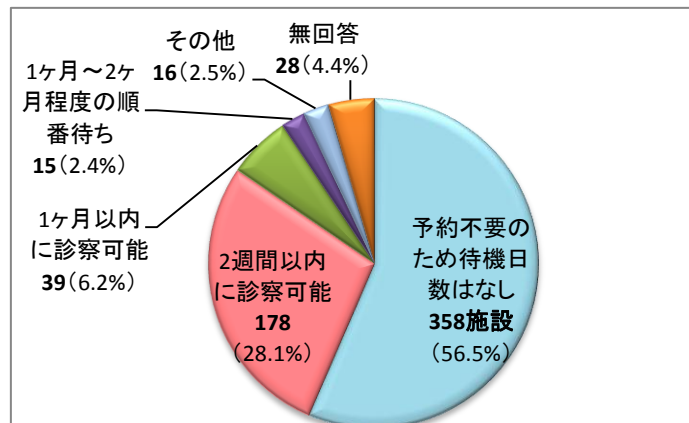
【表 3-9】 予約時から初診までの待機日数 (全体) (N=634 施設)

		合計	予約不要のため待機日数はなし	予約時から2週間以内に診察可能	予約時から1ヶ月以内に診察可能	1ヶ月～2ヶ月程度の順番待ちが必要	2ヶ月以上の順番待ちが必要	その他	無回答		
総数		634 (100.0%)	358 (56.5%)	178 (28.1%)	39 (6.2%)	15 (2.4%)	0 (0.0%)	16 (2.5%)	28 (4.4%)		
病院	合計	93 (100.0%)	29 (31.2%)	33 (35.5%)	13 (14.0%)	11 (11.8%)	0 (0.0%)	5 (5.4%)	2 (2.2%)		
	区部	合計	62 (100.0%)	19 (30.6%)	19 (30.6%)	10 (16.1%)	9 (14.5%)	0 (0.0%)	3 (4.8%)	2 (3.2%)	
		～199床	26 (100.0%)	9 (34.6%)	6 (23.1%)	4 (15.4%)	3 (11.5%)	0 (0.0%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	
		200～499床	20 (100.0%)	4 (20.0%)	8 (40.0%)	3 (15.0%)	4 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	
		500床～	16 (100.0%)	6 (37.5%)	5 (31.3%)	3 (18.8%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		市町村部	合計	31 (100.0%)	10 (32.3%)	14 (45.2%)	3 (9.7%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)
		～199床	15 (100.0%)	9 (60.0%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	
		200～499床	12 (100.0%)	1 (8.3%)	8 (66.7%)	2 (16.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		500床～	4 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	
	診療所	合計	541 (100.0%)	329 (60.8%)	145 (26.8%)	26 (4.8%)	4 (0.7%)	0 (0.0%)	11 (2.0%)	26 (4.8%)	
区部		412 (100.0%)	245 (59.5%)	117 (28.4%)	20 (4.9%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	9 (2.2%)	19 (4.6%)		
市町村部		129 (100.0%)	84 (65.1%)	28 (21.7%)	6 (4.7%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)	7 (5.4%)		

【表 3-10】 予約時から初診までの待機日数 (指定希望施設) (N=124 施設)

	合計	予約不要のため待機日数はなし	予約時から2週間以内に診察可能	予約時から1ヶ月以内に診察可能	1ヶ月～2ヶ月程度の順番待ちが必要	2ヶ月以上の順番待ちが必要	その他	無回答
指定を希望する施設総数	124 (100.0%)	67 (54.0%)	46 (37.1%)	7 (5.6%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)
病院	23 (100.0%)	5 (21.7%)	12 (52.2%)	5 (21.7%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	101 (100.0%)	62 (61.4%)	34 (33.7%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	2 (2.0%)

【図 3-5】 予約時から初診までの待機日数 (全体) (N=634 施設)



(6)鑑別診断を行っている場合の1ヶ月の平均鑑別診断数(外来初診患者における認知症関連疾患(MCIを含む)の診断件数で可)

認知症疾患の鑑別診断を行っていると回答した634施設のうち、1ヶ月の平均鑑別診断数については「10件以下」が494施設(77.9%)と最も多く、次いで「11~30件」が84施設(13.2%)となった。(表3-3、3-11)

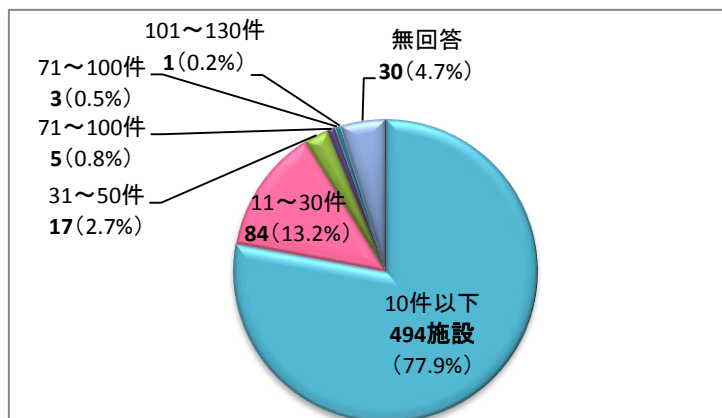
【表3-11】1ヶ月の平均鑑別診断数(全体)(N=634施設)

		合計	10件以下	11件~30件	31件~50件	51件~70件	71件~100件	101件~130件	無回答	
総数		634 (100.0%)	494 (77.9%)	84 (13.2%)	17 (2.7%)	5 (0.8%)	3 (0.5%)	1 (0.2%)	30 (4.7%)	
病院	合計	93 (100.0%)	45 (48.4%)	32 (34.4%)	10 (10.8%)	1 (1.1%)	2 (2.2%)	1 (1.1%)	2 (2.2%)	
	区部	合計	62 (100.0%)	28 (45.2%)	23 (37.1%)	6 (9.7%)	1 (1.6%)	2 (3.2%)	1 (1.6%)	1 (1.6%)
		~199床	26 (100.0%)	21 (80.8%)	3 (11.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	1 (3.8%)
		200~499床	20 (100.0%)	6 (30.0%)	11 (55.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		500床~	16 (100.0%)	1 (6.3%)	9 (56.3%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	市町村部	合計	31 (100.0%)	17 (54.8%)	9 (29.0%)	4 (12.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.2%)
		~199床	15 (100.0%)	11 (73.3%)	1 (6.7%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)
		200~499床	12 (100.0%)	5 (41.7%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		500床~	4 (100.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	541 (100.0%)	449 (83.0%)	52 (9.6%)	7 (1.3%)	4 (0.7%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	28 (5.2%)
		区部	412 (100.0%)	344 (83.5%)	42 (10.2%)	4 (1.0%)	3 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (4.6%)
		市町村部	129 (100.0%)	105 (81.4%)	10 (7.8%)	3 (2.3%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	9 (7.0%)

【表3-12】1ヶ月の平均鑑別診断数(指定規模施設)(N=124施設)

	合計	10件以下	11件~30件	31件~50件	51件~70件	71件~100件	101件~130件	無回答
指定を希望する施設総数	124 (100.0%)	72 (58.1%)	37 (29.8%)	6 (4.8%)	5 (4.0%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (1.6%)
病院	23 (100.0%)	9 (39.1%)	8 (34.8%)	3 (13.0%)	1 (4.3%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	101 (100.0%)	63 (62.4%)	29 (28.7%)	3 (3.0%)	4 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.0%)

【図3-6】1ヶ月の平均鑑別診断数(全体)(N=634施設)



(7)鑑別診断可能な認知症疾患

認知症疾患の鑑別診断を行っているとは回答した 634 施設のうち、鑑別診断可能な認知症疾患については、「アルツハイマー型認知症」が 573 施設 (90.4%) と最も多く、次いで「血管性認知症」(492 施設、77.6%)、「レビー小体型認知症」(411 施設、64.8%)となった。(表 3-3、3-13)

指定希望施設のみを集計では、「アルツハイマー型認知症」が最も多く 122 施設 (98.4%)、次いで「血管性認知症」(115 施設、92.7%)、「レビー小体型認知症」(108 施設、87.1%)であった。(表 3-14)

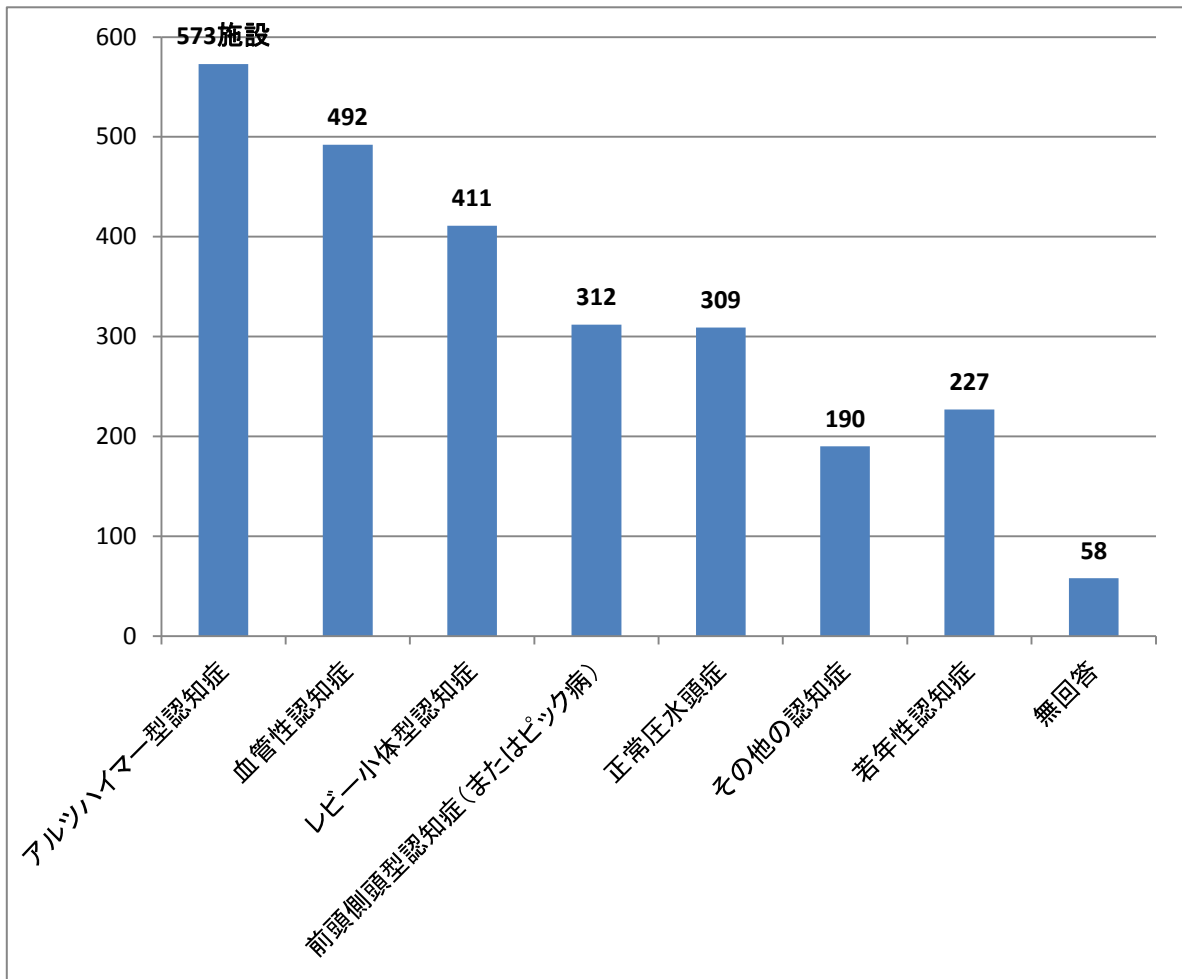
【表 3-13】 鑑別診断可能な認知症疾患 (全体) (N=634 施設、複数回答)

		合計	アルツハイマー型認知症	血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭側頭型認知症(またはピック病)	正常圧水頭症	その他の認知症	若年性認知症	無回答
総数		634 (100.0%)	573 (90.4%)	492 (77.6%)	411 (64.8%)	312 (49.2%)	309 (48.7%)	190 (30.0%)	227 (35.8%)	58 (9.1%)
病院	合計	93 (100.0%)	92 (98.9%)	85 (91.4%)	83 (89.2%)	75 (80.6%)	72 (77.4%)	56 (60.2%)	62 (66.7%)	1 (1.1%)
	合計	62 (100.0%)	61 (98.4%)	56 (90.3%)	54 (87.1%)	49 (79.0%)	52 (83.9%)	39 (62.9%)	42 (67.7%)	1 (1.6%)
	区部									
	~199床	26 (100.0%)	25 (96.2%)	22 (84.6%)	19 (73.1%)	16 (61.5%)	18 (69.2%)	10 (38.5%)	11 (42.3%)	1 (3.8%)
	200~499床	20 (100.0%)	20 (100.0%)	19 (95.0%)	19 (95.0%)	18 (90.0%)	19 (95.0%)	15 (75.0%)	16 (80.0%)	0 (0.0%)
	500床~	16 (100.0%)	16 (100.0%)	15 (93.8%)	16 (100.0%)	15 (93.8%)	15 (93.8%)	14 (87.5%)	15 (93.8%)	0 (0.0%)
	市町村部									
	合計	31 (100.0%)	31 (100.0%)	29 (93.5%)	29 (93.5%)	26 (83.9%)	20 (64.5%)	17 (54.8%)	20 (64.5%)	0 (0.0%)
	~199床	15 (100.0%)	15 (100.0%)	13 (86.7%)	13 (86.7%)	13 (86.7%)	9 (60.0%)	6 (40.0%)	8 (53.3%)	0 (0.0%)
	200~499床	12 (100.0%)	12 (100.0%)	12 (100.0%)	12 (100.0%)	10 (83.3%)	8 (66.7%)	8 (66.7%)	10 (83.3%)	0 (0.0%)
500床~	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	3 (75.0%)	3 (75.0%)	3 (75.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	
診療所	合計	541 (100.0%)	481 (88.9%)	407 (75.2%)	328 (60.6%)	237 (43.8%)	237 (43.8%)	134 (24.8%)	165 (30.5%)	57 (10.5%)
	区部	412 (100.0%)	368 (89.3%)	318 (77.2%)	255 (61.9%)	179 (43.4%)	178 (43.2%)	99 (24.0%)	120 (29.1%)	41 (10.0%)
	市町村部	129 (100.0%)	113 (87.6%)	89 (69.0%)	73 (56.6%)	58 (45.0%)	59 (45.7%)	35 (27.1%)	45 (34.9%)	16 (12.4%)

【表 3-14】 鑑別診断可能な認知症疾患 (指定希望施設) (N=124 施設、複数回答)

	合計	アルツハイマー型認知症	血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭側頭型認知症(またはピック病)	正常圧水頭症	その他の認知症	若年性認知症	無回答
指定を希望する施設総数	124 (100.0%)	122 (98.4%)	115 (92.7%)	108 (87.1%)	94 (75.8%)	87 (70.2%)	71 (57.3%)	81 (65.3%)	3 (2.4%)
病院	23 (100.0%)	23 (100.0%)	23 (100.0%)	22 (95.7%)	20 (87.0%)	18 (78.3%)	17 (73.9%)	18 (78.3%)	0 (0.0%)
診療所	101 (100.0%)	99 (98.0%)	92 (91.1%)	86 (85.1%)	74 (73.3%)	69 (68.3%)	54 (53.5%)	63 (62.4%)	3 (3.0%)

【図 3-7】 鑑別診断可能な認知症疾患（全体）（N=634 施設、複数回答）



(8) 認知症診療に携わる医師の配置について

① 学会認定専門医・認知症疾患の鑑別診断等の専門医療を主たる業務として5年以上の臨床経験を有する医師の合計

日本老年精神医学会が認定する専門医、日本認知症学会が認定する専門医及び認知症疾患の鑑別診断等の専門医療を主たる業務として5年以上の臨床経験を有する医師の配置の合計は、「0-1人未満」とする医療機関が720施設(60.9%)と最も多く、次いで「1-2人未満」が348施設(29.4%)であった。(表3-15)

指定希望施設のみを集計では、「1-2人未満」が74施設(53.6%)で最も多く、配置が一人に満たない施設は24施設(17.4%)であった。(表3-16)

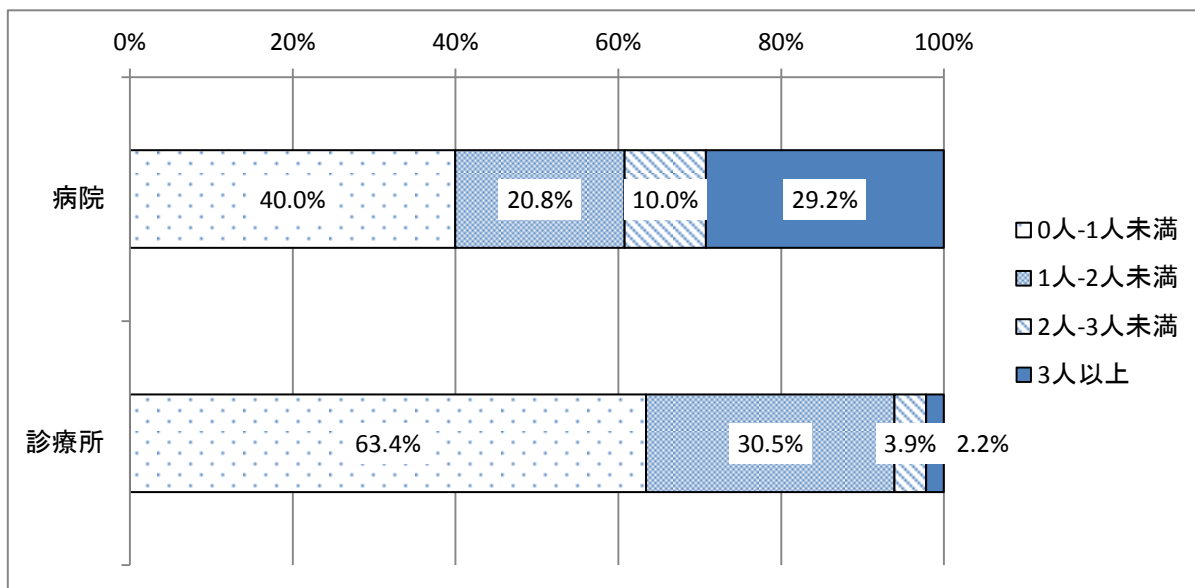
【表3-15】 専門医・5年以上の臨床経験を有する医師の合計(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	720 (60.9%)	348 (29.4%)	54 (4.6%)	61 (5.2%)	
病院	合計	130 (100.0%)	52 (40.0%)	27 (20.8%)	13 (10.0%)	38 (29.2%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	34 (41.5%)	15 (18.3%)	5 (6.1%)	28 (34.1%)
		～199床	41 (100.0%)	28 (68.3%)	6 (14.6%)	1 (2.4%)	6 (14.6%)
		200～499床	24 (100.0%)	5 (20.8%)	7 (29.2%)	4 (16.7%)	8 (33.3%)
		500床～	17 (100.0%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	14 (82.4%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	18 (37.5%)	12 (25.0%)	8 (16.7%)	10 (20.8%)
		～199床	28 (100.0%)	14 (50.0%)	5 (17.9%)	3 (10.7%)	6 (21.4%)
		200～499床	16 (100.0%)	2 (12.5%)	7 (43.8%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)
		500床～	4 (100.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	668 (63.4%)	321 (30.5%)	41 (3.9%)	23 (2.2%)
		区部	792 (100.0%)	489 (61.7%)	254 (32.1%)	34 (4.3%)	15 (1.9%)
		市町村部	261 (100.0%)	179 (68.6%)	67 (25.7%)	7 (2.7%)	8 (3.1%)

【表3-16】 専門医・5年以上の臨床経験を有する医師の合計(常勤換算)(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	24 (17.4%)	74 (53.6%)	16 (11.6%)	24 (17.4%)
病院	24 (100.0%)	1 (4.2%)	5 (20.8%)	3 (12.5%)	15 (62.5%)
診療所	114 (100.0%)	23 (20.2%)	69 (60.5%)	13 (11.4%)	9 (7.9%)

【図 3-8】 専門医・5年以上の臨床経験を有する医師の合計（常勤換算）（病院・診療所別）（N=1,183 施設）



② 日本老年精神医学会認定専門医

日本老年精神医学会認定専門医の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が1,140施設(96.4%)にのぼった。(表3-17) 指定希望施設のための集計においても、「0-1人未満」が122施設(88.4%)で最も多かった。(表3-18)

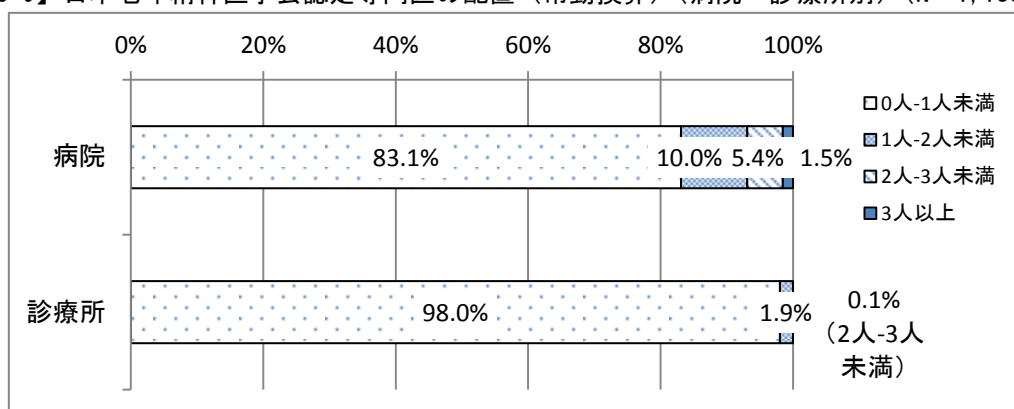
【表3-17】日本老年精神医学会認定専門医の配置（常勤換算）（全体）（N=1,183施設）

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	1,140 (96.4%)	33 (2.8%)	8 (0.7%)	2 (0.2%)	
病院	合計	130 (100.0%)	108 (83.1%)	13 (10.0%)	7 (5.4%)	2 (1.5%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	70 (85.4%)	5 (6.1%)	5 (6.1%)	2 (2.4%)
		～199床	41 (100.0%)	39 (95.1%)	2 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		200～499床	24 (100.0%)	21 (87.5%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)	1 (4.2%)
		500床～	17 (100.0%)	10 (58.8%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	1 (5.9%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	38 (79.2%)	8 (16.7%)	2 (4.2%)	0 (0.0%)
		～199床	28 (100.0%)	23 (82.1%)	4 (14.3%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)
		200～499床	16 (100.0%)	12 (75.0%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
		500床～	4 (100.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	1,032 (98.0%)	20 (1.9%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)
区部		792 (100.0%)	773 (97.6%)	18 (2.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	
市町村部		261 (100.0%)	259 (99.2%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

【表3-18】日本老年精神医学会認定専門医の配置（常勤換算）（指定希望施設）（N=138施設）

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	122 (88.4%)	12 (8.7%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)
病院	24 (100.0%)	17 (70.8%)	3 (12.5%)	2 (8.3%)	2 (8.3%)
診療所	114 (100.0%)	105 (92.1%)	9 (7.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

【図3-9】日本老年精神医学会認定専門医の配置（常勤換算）（病院・診療所別）（N=1,183施設）



③ 日本認知症学会認定専門医

日本認知症学会認定専門医の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が1,138施設(96.4%)にのぼった。(表3-19) 指定希望施設のみの集計においても、「0-1人未満」が122施設(88.4%)で最も多かった。(表3-20)

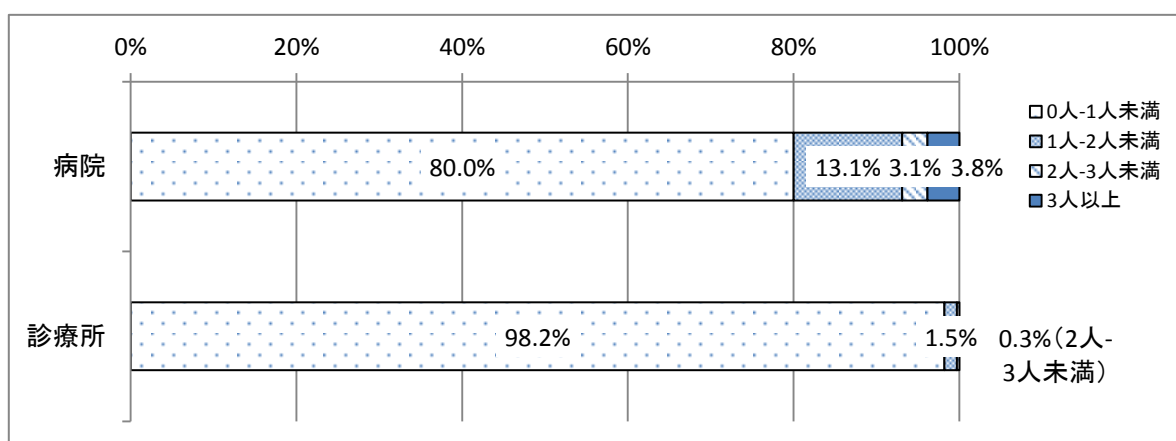
【表3-19】日本認知症学会認定専門医の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	1,138 (96.2%)	33 (2.8%)	7 (0.6%)	5 (0.4%)	
病院	合計	130 (100.0%)	104 (80.0%)	17 (13.1%)	4 (3.1%)	5 (3.8%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	61 (74.4%)	13 (15.9%)	3 (3.7%)	5 (6.1%)
		~199床	41 (100.0%)	38 (92.7%)	2 (4.9%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)
		200~499床	24 (100.0%)	16 (66.7%)	7 (29.2%)	0 (0.0%)	1 (4.2%)
	500床~	17 (100.0%)	7 (41.2%)	4 (23.5%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	
	市町村部	合計	48 (100.0%)	43 (89.6%)	4 (8.3%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)
		~199床	28 (100.0%)	27 (96.4%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		200~499床	16 (100.0%)	13 (81.3%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		500床~	4 (100.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	1,034 (98.2%)	16 (1.5%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)
区部		792 (100.0%)	776 (98.0%)	13 (1.6%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	
市町村部		261 (100.0%)	258 (98.9%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	

【表3-20】日本認知症学会認定専門医の配置(常勤換算)(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	122 (88.4%)	11 (8.0%)	1 (0.7%)	4 (2.9%)
病院	24 (100.0%)	15 (62.5%)	5 (20.8%)	0 (0.0%)	4 (16.7%)
診療所	114 (100.0%)	107 (93.9%)	6 (5.3%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)

【図3-10】日本認知症学会認定専門医の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,183施設)



④ ②・③に該当しない5年以上の臨床経験を有する医師

②・③に該当しないが、認知症疾患の鑑別診断等の専門医療を主たる業務として5年以上の臨床経験を有する医師の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が778施設(65.8%)、「1-2人未満」が326施設(27.6%)であった。(表3-21)

指定希望施設のみを集計では、「1-2人未満」が73施設(52.9%)で最も多かった。(表3-22)

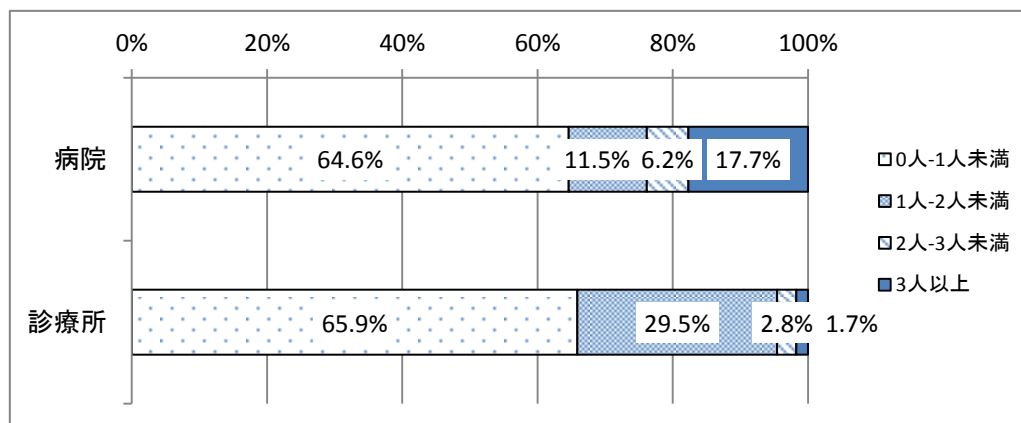
【表3-21】5年以上の臨床経験を有する医師の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	778 (65.8%)	326 (27.6%)	38 (3.2%)	41 (3.5%)	
病院	合計	130 (100.0%)	84 (64.6%)	15 (11.5%)	8 (6.2%)	23 (17.7%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	42 (51.2%)	11 (13.4%)	6 (7.3%)	23 (28.0%)
		～199床	41 (100.0%)	29 (70.7%)	6 (14.6%)	1 (2.4%)	5 (12.2%)
		200～499床	24 (100.0%)	10 (41.7%)	4 (16.7%)	5 (20.8%)	5 (20.8%)
		500床～	17 (100.0%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	13 (76.5%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	42 (87.5%)	4 (8.3%)	2 (4.2%)	0 (0.0%)
		～199床	28 (100.0%)	26 (92.9%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)
		200～499床	16 (100.0%)	13 (81.3%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
		500床～	4 (100.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	694 (65.9%)	311 (29.5%)	30 (2.8%)	18 (1.7%)
区部		792 (100.0%)	513 (64.8%)	244 (30.8%)	24 (3.0%)	11 (1.4%)	
市町村部		261 (100.0%)	181 (69.3%)	67 (25.7%)	6 (2.3%)	7 (2.7%)	

【表3-22】5年以上の臨床経験を有する医師の配置(常勤換算)(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	35 (25.4%)	73 (52.9%)	12 (8.7%)	18 (13.0%)
病院	24 (100.0%)	4 (16.7%)	5 (20.8%)	5 (20.8%)	10 (41.7%)
診療所	114 (100.0%)	31 (27.2%)	68 (59.6%)	7 (6.1%)	8 (7.0%)

【図3-11】5年以上の臨床経験を有する医師の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,138施設)



(9) 認知症診療に携わる専門職の配置について

① 保健師

認知症診療に携わる保健師の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が1,166施設(98.6%)、「1-2人未満」が12施設(1.0%)であった。(表3-23)

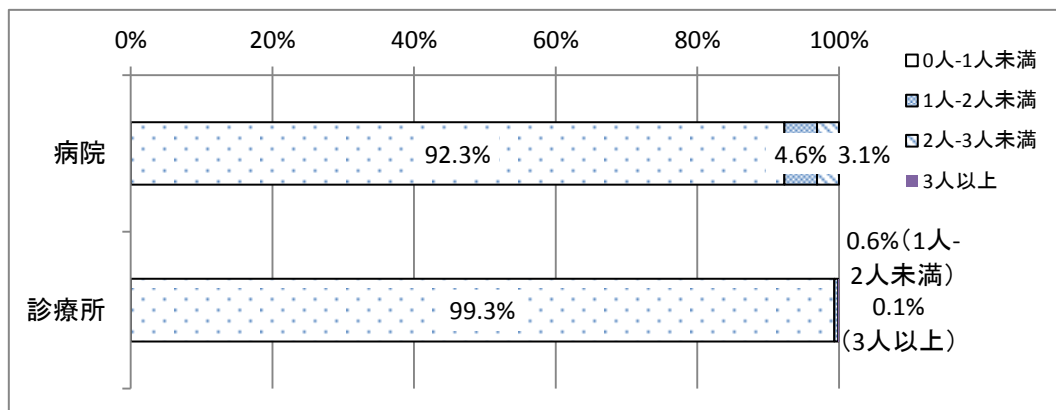
【表3-23】保健師の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	1,166 (98.6%)	12 (1.0%)	4 (0.3%)	1 (0.1%)	
病院	合計	130 (100.0%)	120 (92.3%)	6 (4.6%)	4 (3.1%)	0 (0.0%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	78 (95.1%)	2 (2.4%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)
		～199床	41 (100.0%)	38 (92.7%)	2 (4.9%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)
		200～499床	24 (100.0%)	24 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		500床～	17 (100.0%)	16 (94.1%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	42 (87.5%)	4 (8.3%)	2 (4.2%)	0 (0.0%)
		～199床	28 (100.0%)	26 (92.9%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)
		200～499床	16 (100.0%)	13 (81.3%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
		500床～	4 (100.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	1,046 (99.3%)	6 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
		区部	792 (100.0%)	786 (99.2%)	6 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		市町村部	261 (100.0%)	260 (99.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)

【表3-24】保健師の配置(常勤換算)(指定希望施設)(N=1368施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	129 (93.5%)	6 (4.3%)	3 (2.2%)	0 (0.0%)
病院	24 (100.0%)	19 (79.2%)	2 (8.3%)	3 (12.5%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	110 (96.5%)	4 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

【図3-12】保健師の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,183施設)



② 看護師

認知症診療に携わる看護師の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が919施設(77.7%)、「1-2人未満」が135施設(11.4%)であった。(表3-25)

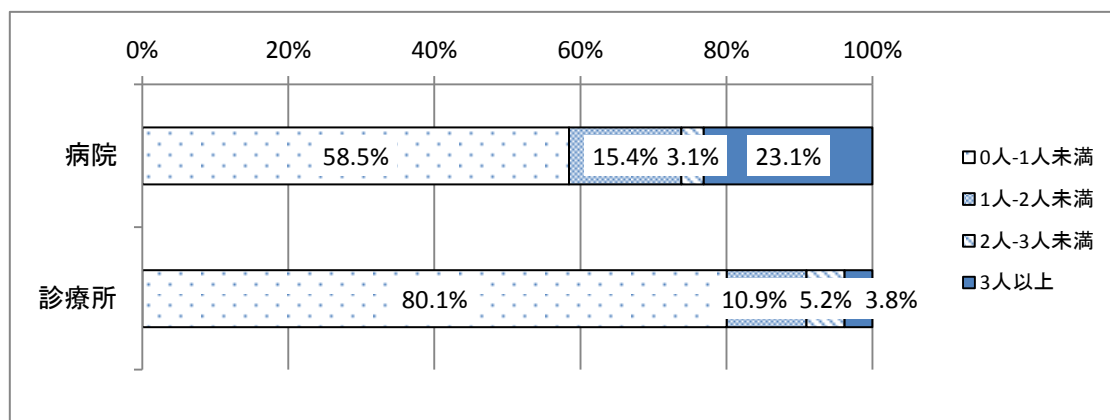
【表3-25】看護師の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	919 (77.7%)	135 (11.4%)	59 (5.0%)	70 (5.9%)	
病院	合計	130 (100.0%)	76 (58.5%)	20 (15.4%)	4 (3.1%)	30 (23.1%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	51 (62.2%)	15 (18.3%)	2 (2.4%)	14 (17.1%)
		～199床	41 (100.0%)	31 (75.6%)	4 (9.8%)	2 (4.9%)	4 (9.8%)
		200～499床	24 (100.0%)	11 (45.8%)	8 (33.3%)	0 (0.0%)	5 (20.8%)
		500床～	17 (100.0%)	9 (52.9%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	5 (29.4%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	25 (52.1%)	5 (10.4%)	2 (4.2%)	16 (33.3%)
		～199床	28 (100.0%)	21 (75.0%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	5 (17.9%)
		200～499床	16 (100.0%)	3 (18.8%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	8 (50.0%)
		500床～	4 (100.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	843 (80.1%)	115 (10.9%)	55 (5.2%)	40 (3.8%)
		区部	792 (100.0%)	628 (79.3%)	94 (11.9%)	39 (4.9%)	31 (3.9%)
		市町村部	261 (100.0%)	215 (82.4%)	21 (8.0%)	16 (6.1%)	9 (3.4%)

【表3-26】看護師の配置(常勤換算)(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	60 (43.5%)	41 (29.7%)	15 (10.9%)	22 (15.9%)
病院	24 (100.0%)	2 (8.3%)	8 (33.3%)	3 (12.5%)	11 (45.8%)
診療所	114 (100.0%)	58 (50.9%)	33 (28.9%)	12 (10.5%)	11 (9.6%)

【図3-13】看護師の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,183施設)



③ 精神保健福祉士

認知症診療に携わる精神保健福祉士の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が1,108施設(93.7%)、「1-2人未満」が46施設(3.9%)であった。(表3-27)

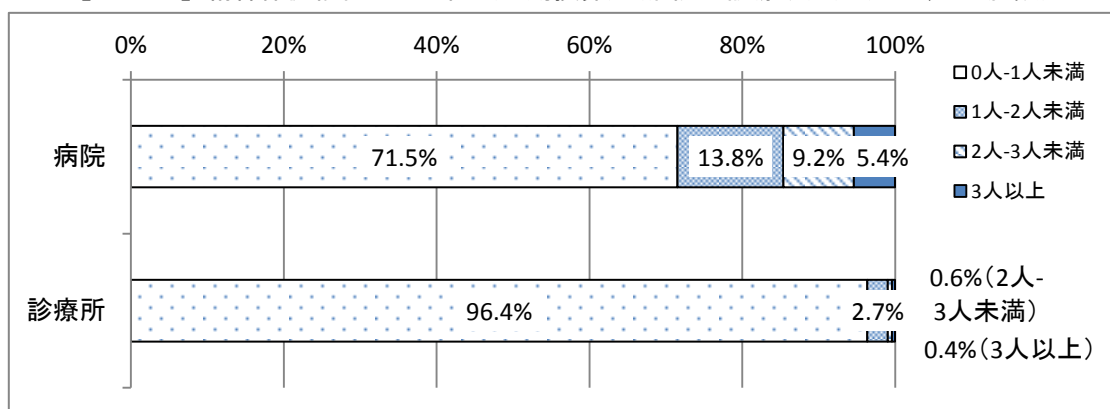
【表3-27】精神保健福祉士の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	1,108 (93.7%)	46 (3.9%)	18 (1.5%)	11 (0.9%)	
病院	合計	130 (100.0%)	93 (71.5%)	18 (13.8%)	12 (9.2%)	7 (5.4%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	67 (81.7%)	10 (12.2%)	2 (2.4%)	3 (3.7%)
		~199床	41 (100.0%)	39 (95.1%)	2 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		200~499床	24 (100.0%)	20 (83.3%)	4 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		500床~	17 (100.0%)	8 (47.1%)	4 (23.5%)	2 (11.8%)	3 (17.6%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	26 (54.2%)	8 (16.7%)	10 (20.8%)	4 (8.3%)
		~199床	28 (100.0%)	20 (71.4%)	2 (7.1%)	5 (17.9%)	1 (3.6%)
		200~499床	16 (100.0%)	4 (25.0%)	6 (37.5%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)
		500床~	4 (100.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	1,015 (96.4%)	28 (2.7%)	6 (0.6%)	4 (0.4%)
区部		792 (100.0%)	760 (96.0%)	23 (2.9%)	5 (0.6%)	4 (0.5%)	
市町村部		261 (100.0%)	255 (97.7%)	5 (1.9%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	

【表3-28】精神保健福祉士の配置(常勤換算)(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	118 (85.5%)	9 (6.5%)	5 (3.6%)	6 (4.3%)
病院	24 (100.0%)	12 (50.0%)	4 (16.7%)	4 (16.7%)	4 (16.7%)
診療所	114 (100.0%)	106 (93.0%)	5 (4.4%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)

【図3-14】精神保健福祉士の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,183施設)



④ 理学療法士

認知症診療に携わる理学療法士の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が1,144施設(96.7%)、「1-2人未満」が15施設(1.3%)であった。(表3-29)

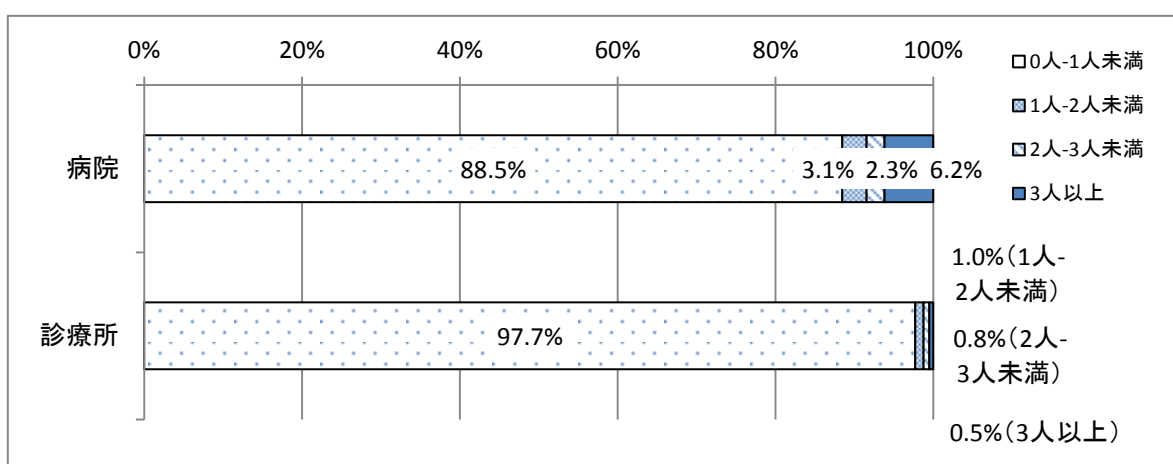
【表3-29】理学療法士の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	1,144 (96.7%)	15 (1.3%)	11 (0.9%)	13 (1.1%)	
病院	合計	130 (100.0%)	115 (88.5%)	4 (3.1%)	3 (2.3%)	8 (6.2%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	76 (92.7%)	1 (1.2%)	1 (1.2%)	4 (4.9%)
		~199床	41 (100.0%)	39 (95.1%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)
		200~499床	24 (100.0%)	22 (91.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)
		500床~	17 (100.0%)	15 (88.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	39 (81.3%)	3 (6.3%)	2 (4.2%)	4 (8.3%)
		~199床	28 (100.0%)	24 (85.7%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)	1 (3.6%)
		200~499床	16 (100.0%)	13 (81.3%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	2 (12.5%)
		500床~	4 (100.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	1,029 (97.7%)	11 (1.0%)	8 (0.8%)	5 (0.5%)
区部		792 (100.0%)	776 (98.0%)	8 (1.0%)	4 (0.5%)	4 (0.5%)	
市町村部		261 (100.0%)	253 (96.9%)	3 (1.1%)	4 (1.5%)	1 (0.4%)	

【表3-30】理学療法士の配置(常勤換算)(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	124 (89.9%)	5 (3.6%)	6 (4.3%)	3 (2.2%)
病院	24 (100.0%)	19 (79.2%)	1 (4.2%)	2 (8.3%)	2 (8.3%)
診療所	114 (100.0%)	105 (92.1%)	4 (3.5%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)

【図3-15】理学療法士の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,183施設)



⑤ 作業療法士

認知症診療に携わる作業療法士の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が1,136施設(96.0%)、「1-2人未満」が24施設(2.0%)であった。(表3-31)

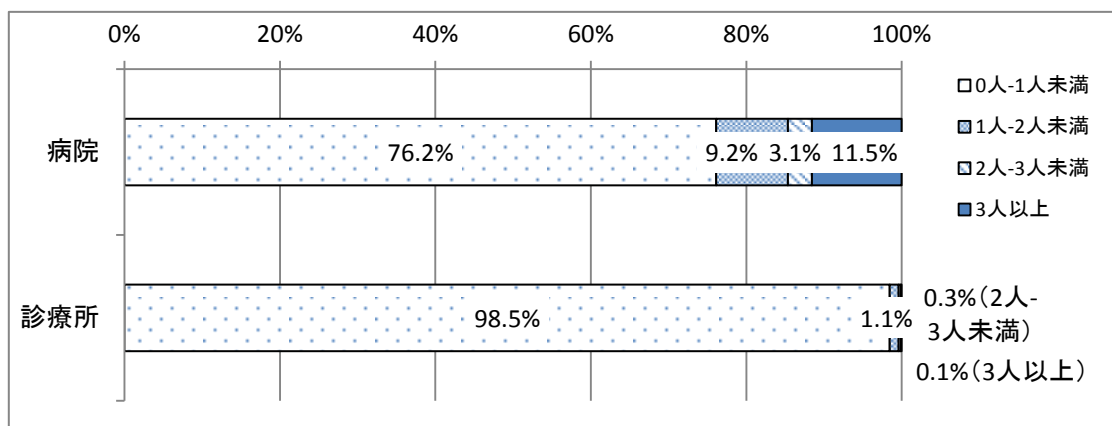
【表3-31】作業療法士の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	1,136 (96.0%)	24 (2.0%)	7 (0.6%)	16 (1.4%)	
病院	合計	130 (100.0%)	99 (76.2%)	12 (9.2%)	4 (3.1%)	15 (11.5%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	72 (87.8%)	5 (6.1%)	0 (0.0%)	5 (6.1%)
		~199床	41 (100.0%)	39 (95.1%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)
		200~499床	24 (100.0%)	20 (83.3%)	2 (8.3%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)
		500床~	17 (100.0%)	13 (76.5%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)
	市町村部	合計	48 (100.0%)	27 (56.3%)	7 (14.6%)	4 (8.3%)	10 (20.8%)
		~199床	28 (100.0%)	20 (71.4%)	3 (10.7%)	2 (7.1%)	3 (10.7%)
		200~499床	16 (100.0%)	5 (31.3%)	4 (25.0%)	2 (12.5%)	5 (31.3%)
		500床~	4 (100.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	1,037 (98.5%)	12 (1.1%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)
区部		792 (100.0%)	783 (98.9%)	8 (1.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	
市町村部		261 (100.0%)	254 (97.3%)	4 (1.5%)	2 (0.8%)	1 (0.4%)	

【表3-32】作業療法士の配置(常勤換算)(指定希望施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	120 (87.0%)	8 (5.8%)	4 (2.9%)	6 (4.3%)
病院	24 (100.0%)	13 (54.2%)	3 (12.5%)	3 (12.5%)	5 (20.8%)
診療所	114 (100.0%)	107 (93.9%)	5 (4.4%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)

【図3-16】作業療法士の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,183施設)



⑥ 臨床心理技術者

認知症診療に携わる臨床心理技術者の配置については、「0-1人未満」と回答した医療機関が1,087施設(91.9%)、「1-2人未満」が63施設(5.3%)であった。(表3-33)

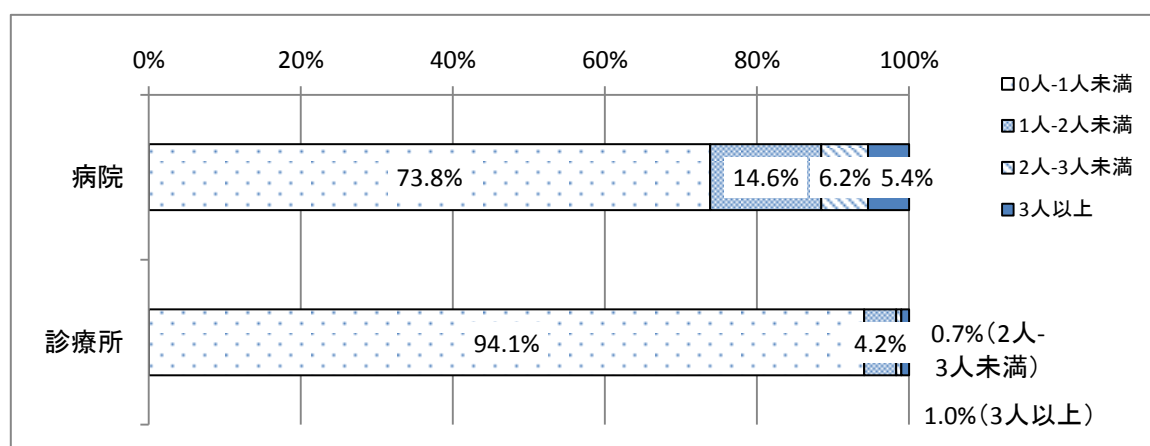
【表3-33】臨床心理技術者の配置(常勤換算)(全体)(N=1,183施設)

		合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上	
総数		1,183 (100.0%)	1,087 (91.9%)	63 (5.3%)	15 (1.3%)	18 (1.5%)	
病院	合計	130 (100.0%)	96 (73.8%)	19 (14.6%)	8 (6.2%)	7 (5.4%)	
	区部	合計	82 (100.0%)	59 (72.0%)	14 (17.1%)	4 (4.9%)	5 (6.1%)
		～199床	41 (100.0%)	38 (92.7%)	3 (7.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
		200～499床	24 (100.0%)	15 (62.5%)	7 (29.2%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)
	500床～	17 (100.0%)	6 (35.3%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	
	市町村部	合計	48 (100.0%)	37 (77.1%)	5 (10.4%)	4 (8.3%)	2 (4.2%)
		～199床	28 (100.0%)	25 (89.3%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)
		200～499床	16 (100.0%)	10 (62.5%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)
		500床～	4 (100.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	991 (94.1%)	44 (4.2%)	7 (0.7%)	11 (1.0%)
区部		792 (100.0%)	736 (92.9%)	39 (4.9%)	6 (0.8%)	11 (1.4%)	
市町村部		261 (100.0%)	255 (97.7%)	5 (1.9%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	

【表3-34】臨床心理技術者の配置(常勤換算)(指定規模施設)(N=138施設)

	合計	0-1人未満	1-2人未満	2-3人未満	3人以上
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	103 (74.6%)	24 (17.4%)	3 (2.2%)	8 (5.8%)
病院	24 (100.0%)	13 (54.2%)	6 (25.0%)	1 (4.2%)	4 (16.7%)
診療所	114 (100.0%)	90 (78.9%)	18 (15.8%)	2 (1.8%)	4 (3.5%)

【図3-17】臨床心理技術者の配置(常勤換算)(病院・診療所別)(N=1,183施設)



(10) 認知症の検査体制の確保

認知症の検査体制については、「臨床心理技術者による心理検査」実施は170施設(14.4%)、「CT」所有は181施設(15.3%)、「MRI」所有は96施設(8.1%)、「SPECT」所有は37施設(3.1%)であった。(表3-35)

指定希望施設のみを集計では、「臨床心理技術者による心理検査」実施は57施設(43.8%)、「CT」所有は38施設(29.2%)、「MRI」所有は25施設(19.2%)、「SPECT」所有は9施設(6.9%)であった。(表3-36)

【表3-35】 認知症の検査体制の確保（全体）（N=1,183施設、複数回答）

		合計	臨床心理技術者による心理検査	CT(自医療機関で所有)	MRI(自医療機関で所有)	MRI(他医療機関に依頼)	SPECT(自医療機関で所有)	SPECT(他医療機関に依頼)	PET(自医療機関で所有)	PET(他医療機関に依頼)		
総数		1,183 (100.0%)	170 (14.4%)	181 (15.3%)	96 (8.1%)	451 (38.1%)	37 (3.1%)	297 (25.1%)	11 (0.9%)	218 (18.4%)		
病院	合計	130 (100.0%)	52 (40.0%)	104 (80.0%)	69 (53.1%)	26 (20.0%)	37 (28.5%)	27 (20.8%)	9 (6.9%)	29 (22.3%)		
	区部	合計	82 (100.0%)	38 (46.3%)	71 (86.6%)	52 (63.4%)	13 (15.9%)	31 (37.8%)	14 (17.1%)	7 (8.5%)	16 (19.5%)	
		～199床	41 (100.0%)	8 (19.5%)	30 (73.2%)	14 (34.1%)	10 (24.4%)	2 (4.9%)	8 (19.5%)	1 (2.4%)	3 (7.3%)	
		200～499床	24 (100.0%)	16 (66.7%)	24 (100.0%)	23 (95.8%)	1 (4.2%)	14 (58.3%)	5 (20.8%)	1 (4.2%)	7 (29.2%)	
		500床～	17 (100.0%)	14 (82.4%)	17 (100.0%)	15 (88.2%)	2 (11.8%)	15 (88.2%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	6 (35.3%)	
		市町村部	合計	48 (100.0%)	14 (29.2%)	33 (68.8%)	17 (35.4%)	13 (27.1%)	6 (12.5%)	13 (27.1%)	2 (4.2%)	13 (27.1%)
			～199床	28 (100.0%)	5 (17.9%)	18 (64.3%)	8 (28.6%)	7 (25.0%)	0 (0.0%)	7 (25.0%)	0 (0.0%)	5 (17.9%)
			200～499床	16 (100.0%)	8 (50.0%)	12 (75.0%)	5 (31.3%)	6 (37.5%)	3 (18.8%)	5 (31.3%)	1 (6.3%)	6 (37.5%)
			500床～	4 (100.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)
	診療所	合計	1,053 (100.0%)	118 (11.2%)	77 (7.3%)	27 (2.6%)	425 (40.4%)	0 (0.0%)	270 (25.6%)	2 (0.2%)	189 (17.9%)	
区部		792 (100.0%)	96 (12.1%)	52 (6.6%)	19 (2.4%)	342 (43.2%)	0 (0.0%)	221 (27.9%)	2 (0.3%)	158 (19.9%)		
市町村部		261 (100.0%)	22 (8.4%)	25 (6+%)	8 (900.0%)	83 (31.8%)	0 (0.0%)	49 (18.8%)	0 (0.0%)	31 (11.9%)		

【表3-36】 認知症の検査体制の確保（指定希望施設）（N=138施設、複数回答）

	合計	臨床心理技術者による心理検査	CT(自医療機関で所有)	MRI(自医療機関で所有)	MRI(他医療機関に依頼)	SPECT(自医療機関で所有)	SPECT(他医療機関に依頼)	PET(自医療機関で所有)	PET(他医療機関に依頼)
指定を希望する施設総数	130 (100.0%)	57 (43.8%)	38 (29.2%)	25 (19.2%)	72 (55.4%)	9 (6.9%)	64 (49.2%)	2 (1.5%)	52 (40.0%)
病院	24 (100.0%)	19 (79.2%)	21 (87.5%)	14 (58.3%)	9 (37.5%)	9 (37.5%)	9 (37.5%)	2 (8.3%)	12 (50.0%)
診療所	114 (100.0%)	38 (33.3%)	17 (14.9%)	11 (9.6%)	63 (55.3%)	0 (0.0%)	55 (48.2%)	0 (0.0%)	40 (35.1%)

(11) ケアマネジャーへの助言または連携の実施

ケアマネジャーへの助言または連携については、「通常の業務として実施している」と回答した医療機関は 435 施設 (36.8%) であった。(表 3-37)

指定希望施設のための集計では、「通常の業務として実施している」と回答した医療機関は 86 施設 (62.3%) であった。(表 3-38)

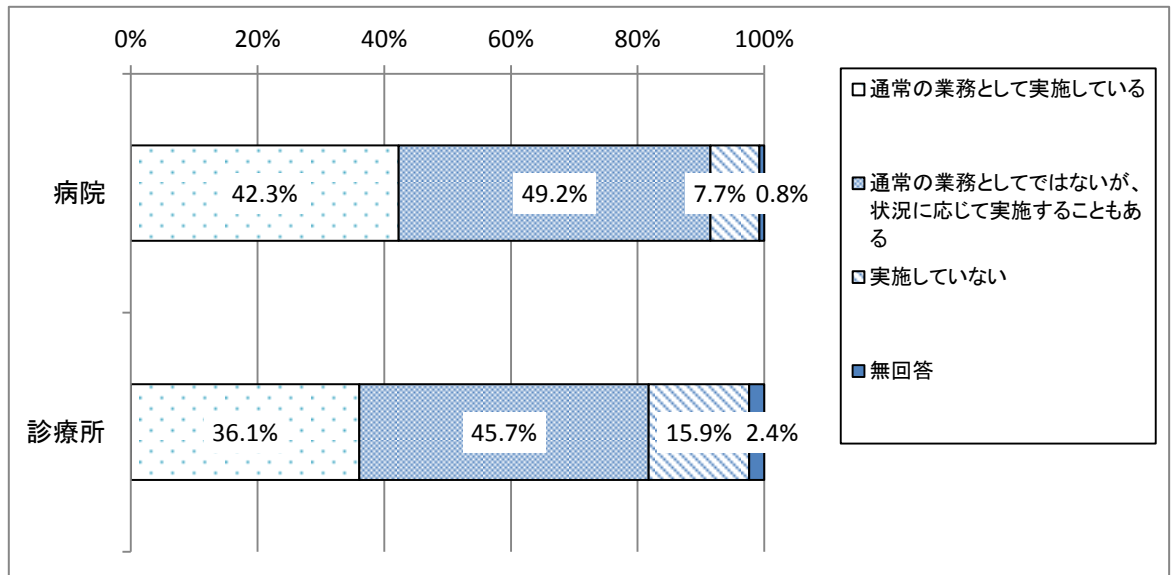
【表 3-37】 ケアマネジャーへの助言または連携の実施 (全体) (N=1,183 施設)

		合計	通常の業務として実施している	通常の業務としてではないが、状況に応じて実施することもある	実施していない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	435 (36.8%)	545 (46.1%)	177 (15.0%)	26 (2.2%)
病院	合計	130 (100.0%)	55 (42.3%)	64 (49.2%)	10 (7.7%)	1 (0.8%)
	区部	82 (100.0%)	33 (40.2%)	44 (53.7%)	4 (4.9%)	1 (1.2%)
	市町村部	48 (100.0%)	22 (45.8%)	20 (41.7%)	6 (12.5%)	0 (0.0%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	380 (36.1%)	481 (45.7%)	167 (15.9%)	25 (2.4%)
	区部	792 (100.0%)	297 (37.5%)	347 (43.8%)	128 (16.2%)	20 (2.5%)
	市町村部	261 (100.0%)	83 (31.8%)	134 (51.3%)	39 (14.9%)	5 (1.9%)

【表 3-38】 ケアマネジャーへの助言または連携の実施 (指定希望施設) (N=138 施設)

	合計	通常の業務として実施している	通常の業務としてではないが、状況に応じて実施することもある	実施していない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	86 (62.3%)	49 (35.5%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)
病院	24 (100.0%)	15 (62.5%)	9 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	71 (62.3%)	40 (35.1%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)

【図 3-18】 ケアマネジャーへの助言または連携の実施 (病院・診療所別) (N=1,183 施設)



(12) 地域包括支援センター職員への助言または連携の実施

地域包括支援センター職員への助言または連携については、「通常の業務として実施している」と回答した施設が 311 施設（26.3%）であった。（表 3-39）

指定希望施設のみを集計では、「通常の業務として実施している」と回答した医療機関は 86 施設（62.3%）であった。（表 3-40）

【表 3-39】 地域包括支援センター職員への助言または連携の実施（合計）（N=1,183 施設）

		合計	通常の業務として実施している	通常の業務としてではないが、状況に応じて実施することもある	実施していない	無回答
総数		1,183 (100.0%)	311 (26.3%)	538 (45.5%)	317 (26.8%)	17 (1.4%)
病院	合計	130 (100.0%)	46 (35.4%)	62 (47.7%)	19 (14.6%)	3 (2.3%)
	区部	82 (100.0%)	25 (30.5%)	44 (53.7%)	11 (13.4%)	2 (2.4%)
	市町村部	48 (100.0%)	21 (43.8%)	18 (37.5%)	8 (16.7%)	1 (2.1%)
診療所	合計	1,053 (100.0%)	265 (25.2%)	476 (45.2%)	298 (28.3%)	14 (1.3%)
	区部	792 (100.0%)	209 (26.4%)	344 (43.4%)	228 (28.8%)	11 (1.4%)
	市町村部	261 (100.0%)	56 (21.5%)	132 (50.6%)	70 (26.8%)	3 (1.1%)

【表 3-40】 地域包括支援センター職員への助言または連携の実施（指定希望施設）（N=138 施設）

	合計	通常の業務として実施している	通常の業務としてではないが、状況に応じて実施することもある	実施していない	無回答
指定を希望する施設総数	138 (100.0%)	86 (62.3%)	48 (34.8%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)
病院	24 (100.0%)	15 (62.5%)	8 (33.3%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)
診療所	114 (100.0%)	71 (62.3%)	40 (35.1%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)

【図 3-19】 地域包括支援センター職員への助言または連携の実施（病院・診療所別）（N=1,183 施設）

